

令和 8 年度当初予算のポイント

みんなでつくる みらいへつなぐ
新たなまちづくり

目次



1. 「現状認識」と令和8年度当初予算の「編成ポイント」	3
2. 令和8年度当初予算の「規模」	4
3. 重点事業	
(1) 稼ぐ燕市、育てる燕市、燕はひとつ	5
(2) 合併20周年記念事業	9
(3) 生活を豊かにする新たな施設整備	10
(4) 交付金等を活用した物価高対策	11
4. 一般会計「歳入予算」の概要	12
5. 一般会計「歳出予算」の概要	19
6. 一般会計「基金残高」の状況	22
7. 一般会計「市債残高」の状況	23
8. 第3次燕市総合計画の戦略体系に基づく主要事業	24
〔戦略1〕定住人口戦略	26
〔戦略2〕活動人口戦略	39
〔戦略3〕交流・応援(燕)人口戦略	45
〔戦略4〕人口戦略を支える都市環境の整備	47
〔戦略5〕持続可能な行財政運営の推進	53

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本市は地方創生SDGsの達成に向けて先進的に取組む自治体として、2024年度、内閣府より「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に認定されました。引き続き、総合計画に基づき、SDGsが目指す持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向け、市民が安心して生活できるまちづくりを進めるとともに、持続可能な地域経済・社会の構築を目指していきます。



【現状認識】

社会経済環境の変化により多様化・複雑化する行政需要に的確かつ柔軟に対応することが求められる中、高齢化の進展に伴う社会保障費の増加や公共施設の老朽化への対応が歳出を拡大させる要因となっています。また、今般の物価高や人件費、金利の上昇がさらなる歳出の押し上げ要因となり、本市の財政運営は厳しさを増しています。

こうした状況の中、本市の人口減少率は県内20市中、少ない方から2番目に位置するものの、出生数は想定以上に減少しており、引き続き、人口減少対策に取り組む必要があります。加えて、人口減少は今後も続くと見込まれることから、人口減少社会を前提とした持続可能なまちづくりを進めていくことも重要なっています。

令和8年は、合併20周年という節目の年であり、新たな燕市の未来を切り開く第一歩を踏み出す契機となる年です。

【編成ポイント】

以上の現状認識を踏まえ、令和8年度当初予算は中長期的な視点で行財政改革を進めつつ、持続可能で活力あるまちづくりを進めるため、立場や世代を超えた『みんなでつくる燕市』の理念のもと、『稼ぐ燕市・育てる燕市・燕はひとつ』を重点に、新たなまちづくりへ“変化の兆し”が見えることを目指して編成しました。併せて、引き続き、『日本一輝いているまち燕市』の実現に向けて人口減少に真正面から立ち向かうために、燕市総合計画の3つの人口戦略の体系に沿って各種施策を展開します。

「日本一輝いているまち燕市」

戦略1

定住 人口戦略

新規：26
拡充：27
臨時：3

戦略2

活動 人口戦略

新規：5
拡充：13
臨時：2

戦略3

交流・応援(燕) 人口戦略

新規：1
拡充：9

稼ぐ燕市・育てる燕市・燕はひとつ

戦略4

新規：3、拡充8、臨時：2

人口戦略を支える都市環境の整備

戦略5

新規：6、拡充2、臨時：7

持続可能な行政運営の推進

みんなでつくる燕市

掲載事業数計 新規：41、拡充：59、臨時：14

令和8年度当初予算の「規模」

◆一般会計当初予算額 **483億5,700万円** (前年度比9億600万円減(▲1.8%))

令和8年度一般会計当初予算額は、サッカー場整備や保健センター改修などの建設事業のほか、長引く物価高への対策を含め、引き続き燕市総合計画の3つの人口戦略の体系に沿って各種施策を積極的に取り組むこととしたため、合併後最大であった令和7年度に次ぐ規模の総額483億5,700万円(前年度比9億600万円の減(▲1.8%))となりました。

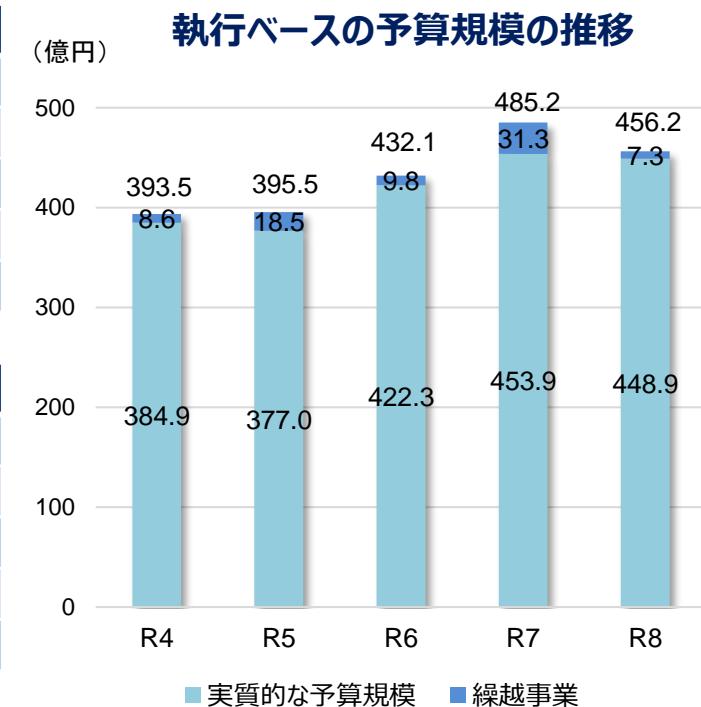
なお、市債の借換分を除いた「実質的な予算規模」は448億8,617万円、令和7年度の国補正予算を活用して前倒しで補正計上している繰越事業を合わせた「執行ベースの予算規模」は、前年度比29億50万円減(▲6.0%)の456億1,540万円となっています。

また、特別会計の総額は、171億7,047万円(前年度比5億1,841万円の増(+3.1%))となりました。

一般会計の予算規模	予 算 額	対前年度増減額	増減率
一般会計 ①	483億5,700万円	▲9億 600万円	▲1.8%
①のうち借換分 ②	34億7,083万円	▲4億 372万円	▲10.4%
実質的な予算規模 ① - ②	448億8,617万円	▲5億 228万円	▲1.1%
繰越事業 ③	7億2,923万円	▲23億9,822万円	▲76.7%
執行ベースの予算規模 ① - ② + ③	456億1,540万円	▲29億 50万円	▲6.0%

特別会計	予 算 額	対前年度増減額	増減率
国民健康保険特別会計	69億1,176万円	2億5,213万円	3.8%
後期高齢者医療特別会計	14億4,095万円	2億1,268万円	17.3%
介護保険事業特別会計	87億4,757万円	5,368万円	0.6%
土地取得特別会計	7,019万円	▲8万円	▲0.1%
計	171億7,047万円	5億1,841万円	3.1%

※ 端数調整のため合計額と一致しない場合があります(次ページ以降において同じ)



「ものづくりのまち燕」を進化・発展させる取組を進めるとともに、製造業等における生産性・作業効率の向上を支援し、売上の最大化とコストの最小化を目指します。

「ものづくりのまち燕」を進化・発展させる取組

新産業創出事業 新 (次世代産業育成支援事業)

【予算額】 71万円 (P.26)

産業界と協働で機械加工等の技術学会に参加し、新産業分野の調査研究を行います。

【担当課】商工振興課

事業承継基礎調査事業 新

(基盤技術人材育成支援事業)

【予算額】 138万円 (P.27)

市内の製造業・卸売業を対象に、事業承継に関する調査を行い、サプライチェーンの維持・発展に向けた支援の検討を進めます。 【担当課】商工振興課



地場産業販路開拓事業 拡

【予算額】 3,429万円 (P.26)

販路開拓を目的とした国内外の見本市等への出展に対し、予算額を拡充して支援することで、受注機会の拡大等を図ります。

ISO9001等認証取得支援事業 拡

(ものづくり品質シンカ事業)

【予算額】 200万円 (P.27)

ISO等の認証取得に関する経費について、上限額及び対象となる認証規格を拡充して補助することで、地場製品の付加価値向上につなげます。 【担当課】商工振興課



生産性向上・働きやすい職場づくりを支援する取組

DX計画策定支援補助金 新

(中小企業DX推進支援事業)

【予算額】 200万円 (P.27)

企業のDX導入への第一歩を後押しするため、DX導入に向けたロードマップや計画策定等の費用を補助します。

【担当課】商工振興課



工場等暑熱対策総合支援事業 新

(働きやすい職場環境整備支援事業)

【予算額】 3,600万円 (P.26)

従業員の作業効率及び働きやすさの向上のため、従来の工場等における屋根や壁に施工する遮熱・断熱工事に加えて、地下水クーラーの導入や窓の遮熱工事を補助対象とします。

【担当課】商工振興課

持続可能な農業経営を目指し、担い手確保や経営の安定化につながる新たな支援を展開します。また、事業者とともに産業観光を推進し、観光誘客の施策を強化することで経済効果を高めます。



持続可能な農業経営に向けた取組

農業体験

新規就農

農業経営の安定化

**踏み出せ！農業！
スタートアップ事業** 拡
【予算額】704万円 (P.28)

新たな担い手候補に本市の農業の魅力を知ってもらうため、地域おこし協力隊による情報発信や農作業等の体験受入支援等を行います。

【担当課】農政課



つばめ稼ぐ農業支援事業 新
【予算額】3,100万円 (P.28)

持続的な農業経営を目指し、既存補助事業をパッケージ化・拡充して作業効率化や販路拡大等を支援します。

- ◇規模拡大・販路拡大支援
- ◇省力化・低コスト化支援ほか

【担当課】農政課

農産物消費拡大事業 拡
【予算額】492万円 (P.28)

【担当課】農政課

有害鳥獣対策事業 新
【予算額】529万円 (P.28)

農作物被害を防止・軽減するため、電気柵の補助や研修会等を行います。

【担当課】農政課

観光消費の拡大に向けた取組

燕ソウルフード観光プロモーション事業 拡
【予算額】143万円 (P.45)

【担当課】観光振興課



産業観光受入体制整備事業 拡
【予算額】255万円 (P.45)

【担当課】観光振興課

国内外の観光誘客に向けた取組

インバウンド対応に関する調査事業 新
(観光誘客促進事業)
【予算額】13万円 (P.45)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

【担当課】観光振興課



佐渡・八十里越等誘客プロモーション事業 拡
(観光誘客促進事業)
【予算額】107万円 (P.45)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

【担当課】観光振興課

人づくりはまちづくりの基盤です。未来を担う子どもたち、その子どもたちを育てる保護者の皆さんを支える環境づくりを進めます。



保護者を支える取組

学校給食費保護者負担の軽減 拡

【予算額】9,519万円 (P.29)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

令和8年度は小学生の保護者負担額をゼロとし、中学生の保護者負担額は物価高騰分を公費負担により据え置きます。 【担当課】学校教育課



医療的ケア児等レスパイト（一時預かり）事業 新

【予算額】437万円 (P.37)

市内事業所と連携し、医療的ケア児や重症心身障がい児の一時預かり事業を実施し、家族の就労・休息をサポートします。

【担当課】子育て応援課

安心して子育てできる保育環境の整備

玄関ドアロック・防犯カメラ導入事業 新

【予算額】2,280万円 (P.33)

こどもたちの安全を守るため、公立園に玄関ドアロックシステムを導入するほか、防犯カメラを設置します。

【担当課】こども未来課



私立園ICT化推進補助事業 新

【予算額】480万円 (P.33)

私立園の業務効率化等を支援するため、システム導入・機器更新など現場の課題に合わせたICT化への補助制度を創設します。

【担当課】こども未来課

学びを支える体制整備と燕らしい特色ある教育の推進

燕市不登校対策 新

～COCOLO“T”（燕版COCOLOプラン）～

【予算額】5,059万円 (P.30)

安心して学べる環境整備のため、燕市独自の不登校対策を推進し、多様な学びの確保や相談体制の充実を図ります。

【担当課】学校教育課

つばめ長善プロジェクト 拡

【予算額】4,726万円 (P.31、予算書P.187、193)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

燕市独自の教育プログラムを拡充するほか、合併20周年に関連した取組の実施など、こどもたちが自分の良さを伸ばしたり、新たな可能性を広げたりすることを応援します。

【担当課】学校教育課

行政や民間の垣根を越え、さらにはあらゆる世代の皆さんにまちづくりを身近に感じていただき、市政への参画を促す取組を進めます。

市政との関わりの創出

市民とのふれあいトーク 新 (広報広聴費)

【予算額】14万円 (予算書P.65)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

燕・吉田・分水の3地区で市長が市政についてお伝えする「市民とのふれあいトーク」を開催します。

また、各種団体等に市長が赴き「出張！ふれあいトーク」を開催します。

【担当課】広報秘書課



こども会議 (仮称) 新 (児童福祉総務費)

【予算額】8万円 (P.32)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

こどもたちの社会参画とまちづくりへの意見反映を促進するため、燕市の未来を担うこどもたちに幅広く意見を聞くこども会議を開催します。

◇対象：市内の小・中学生
(公募予定)

【担当課】こども未来課



市民活動を支える取組

自治会運営支援事業 拡 (町内関係費)

【予算額】145万円 (P.43)

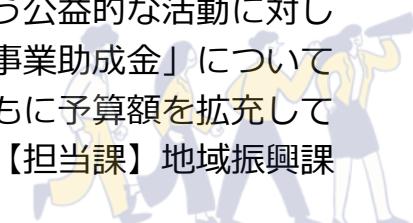
自治会活動の活性化と多様化する自治会課題の解消に向けた各種支援策のメニューに「単発型の自治会アドバイザー派遣」等を追加します。

【担当課】総務課

協働のまちづくり推進事業 拡

【予算額】265万円 (P.43)

自治会やまちづくり協議会等が行う公益的な活動に対して交付する「イキイキまちづくり事業助成金」について申請区分をリニューアルするとともに予算額を拡充して市民活動の活発化を支援します。 【担当課】地域振興課



令和8年3月20日は、平成18年3月20日に1市2町が合併して誕生した新「燕市」の合併20周年の日です。これを新たな飛躍と発展に向けた契機と捉え、特別イベント等を実施します。

燕市の「今」を盛り上げる



①つばめ桜まつり・分水おいらん道中 拡

【予算額】1,650万円（予算書P.157）

【担当課】観光振興課

②飛燕夏まつり・吉田まつり

・分水まつり・デジタル花火 拡

【予算額】1,736万円（P.45）

【担当課】観光振興課

③越後くがみ山 酒呑童子行列 拡

【予算額】350万円（予算書P.157）

【担当課】観光振興課

④道の駅SORAIRO国上 秋の収穫祭 拡

【予算額】200万円（予算書P.159）

【担当課】観光振興課

⑤つばめ食べて応援キャンペーン・

飛燕舞・新大コシヒカリの生産・販売促進 拡

【予算額】492万円（P.28）

【担当課】農政課

※①③④は関連する予算額のみを抜き出しています。

また、①～⑥は合併20周年にちなんだ企画を実施します。

⑥敬老事業 拡

【予算額】884万円（P.36）

【担当課】長寿福祉課

⑦文化会館自主事業 拡

【予算額】2,714万円（P.41）

自衛隊音楽コンサートやものまねコンサートなどスペシャルラインナップをご用意します。

【担当課】社会教育課

⑧公民館活動の祭典 新

【予算額】3万円（P.41）

社会教育団体が活動の成果発表や作品の展示・販売等を行います。

【担当課】社会教育課

このほかにもさまざまな場面で
「つばめ！リポーター」の
桜咲ユメが
合併20周年をPRしていきます

燕市の「未来」へつなぐ



⑨つばめっ子が描く未来の燕事業 臨

【予算額】80万円（P.31）

小中学生を対象とした絵画コンクールを開催します。

【担当課】学校教育課

⑩燕ジュニア検定 拡

【予算額】43万円（P.31）

合併20周年に関する記念問題を追加します。

【担当課】学校教育課

⑪広報つばめ「子ども版」の発行 拡

【予算額】119万円（P.31）

市内小学生が子ども記者として「合併20周年」を意識した視点を取り入れながら、広報紙を制作します。

【担当課】広報秘書課

※⑪は関連する予算額のみを抜き出しています。



こどもから年配の方まで、誰もがいきいきと体を動かし、生活を豊かにする新たな「運動の場」を整備します。

B&G海洋センター移転改築事業 臨

【R8予算額】 8億6,840万円

※うちR7繰越予算額：6億6,881万円 (P.40)

施設の老朽化や利用環境の改善により、市民の健康増進を図るほか、小学校のプール授業の受け皿として活用するため、隣接地に移転・改築を行います。オープン時には、著名なゲストを招いた水泳競技のオープニングセレモニーを行い、新施設の魅力を広く発信します。

◇新施設の場所：燕市B&G海洋センター

（燕市白山町3丁目24番52号）の現行プール隣

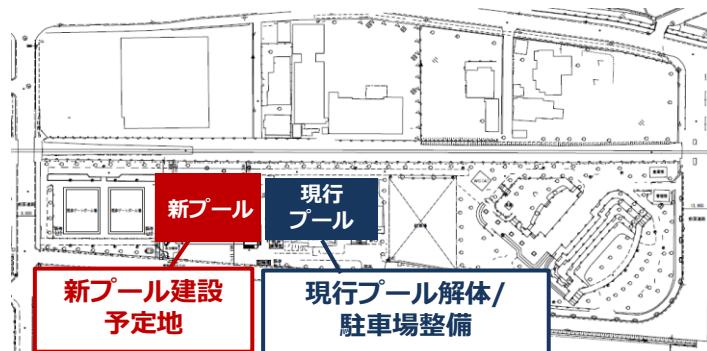
◇プールの機能：25m×6コース、幼児用プール（6 m×8 m）

◇施設の改善点：遮熱・断熱性能の向上、トイレの洋式化、ロッカールームの拡充や多目的ルームの新設

◇オープン時期：令和8年7月下旬頃（予定）



現行プール



【担当課】社会教育課

サッカー場整備事業 拡

【予算額】 6億3,660万円 (P.40)



利用者が雨天時や夜間でも安全・安心に活動できるよう、吉田ふれあい広場（多目的広場）に夜間照明を備えた多目的人工芝サッカーコートを整備します。

◇施設の場所：燕市吉田ふれあい広場
(燕市大保466番地) 内

◇施設の機能：多目的人工芝サッカーコート1面
ナイト照明4基
管理棟トイレの改修
駐車場拡張など

多目的人工芝
サッカーコート



【担当課】社会教育課

食料品価格等の物価高騰の影響が長期化する中、
重点支援地方交付金等を活用し、市民生活や経済活動を下支えします。

全体像 ※黄色部分はR8当初予算

生活者支援		事業者支援
子育て世帯支援	低所得世帯支援	
小中学校・保育園・こども園の給食費保護者負担の軽減 拡 【予算額】1億2,216万円 (P.29、予算書P.219、101、103) <ul style="list-style-type: none"> ▶令和8年度は小学校給食費の「保護者負担ゼロ」を実施 ▶中学校・保育園・こども園の給食材料費の価格上昇分を市が負担し、給食費負担額を据え置く補助を拡充して実施 	住民税非課税世帯等に対する臨時給付金支給事業 R7先行実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶住民税非課税世帯等に対し、2万円を給付 	働きやすい職場環境整備支援事業 拡 【予算額】4,002万円 (予算書P.139) <ul style="list-style-type: none"> ▶補助対象に地下水(井戸水)クーラーの導入・窓の遮熱工事を追加
物価高対応子育て応援手当支給事業 R7先行実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶児童1人あたり2万円を給付 	低所得のひとり親世帯等（住民税非課税世帯等以外）に対する臨時給付金支給事業 R7先行実施 <ul style="list-style-type: none"> ▶児童1人当たり5千円を給付 	中小企業DX推進支援事業 新 【予算額】1,351万円 (予算書P.155) <ul style="list-style-type: none"> ▶新たにDX計画策定支援補助金・スマートファクトリー加速化補助金を創設
		ものづくり品質シンカ事業 拡 【予算額】708万円 (予算書P.161、163) <ul style="list-style-type: none"> ▶ISO9001等認証取得支援補助金の補助対象規格を追加し、補助上限額を拡充
		地場産業販路開拓事業 拡 【予算額】3,429万円 (予算書P.153) <ul style="list-style-type: none"> ▶見本市出展小間料補助金、海外見本市出展サポート補助金の予算総額を拡充
		つばめ稼ぐ農業支援事業 新 【予算額】3,100万円 (予算書P.145) <ul style="list-style-type: none"> ▶既存補助事業を集約し、補助対象等を拡充の上、新たにパッケージ化
		産業観光受入体制整備事業 拡 【予算額】255万円 (予算書P.159) <ul style="list-style-type: none"> ▶産業観光受入体制整備事業補助金ほかの予算総額・補助上限額を拡充

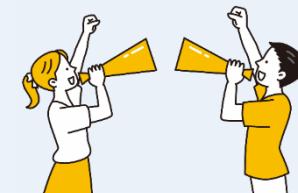
市民生活や経済活動を下支え

燕応援フェニックスクーポン発行事業（第8弾）【R7繰越予算額】3億7,360万円

- ▶市民1人あたり5千円分のクーポン券(割引券)を発行
5月下旬から順次発送し、使用期限は12月31日まで

水道料金臨時負担軽減事業【R7繰越予算額】1億5,505万円

- ▶令和8年6月検針分から11月検針分までの期間、水道基本料金を6か月間全額減免



令和8年度歳入総額は、483億5,700万円です。市債の借入額と返済額を同額で計上している借換分を除いた「実質的な予算規模」は、448億8,617万円であり、令和7年度と比較して5億228万円（▲1.1%）の減となっています。

自主財源において、市税は給与所得の増などで個人市民税を中心に全体で増加を見込む一方で、B&G海洋センター移転改築事業へのふるさと応援基金繰入金の充当額が前年度比で減少することなどにより、繰入金は減少となっています。

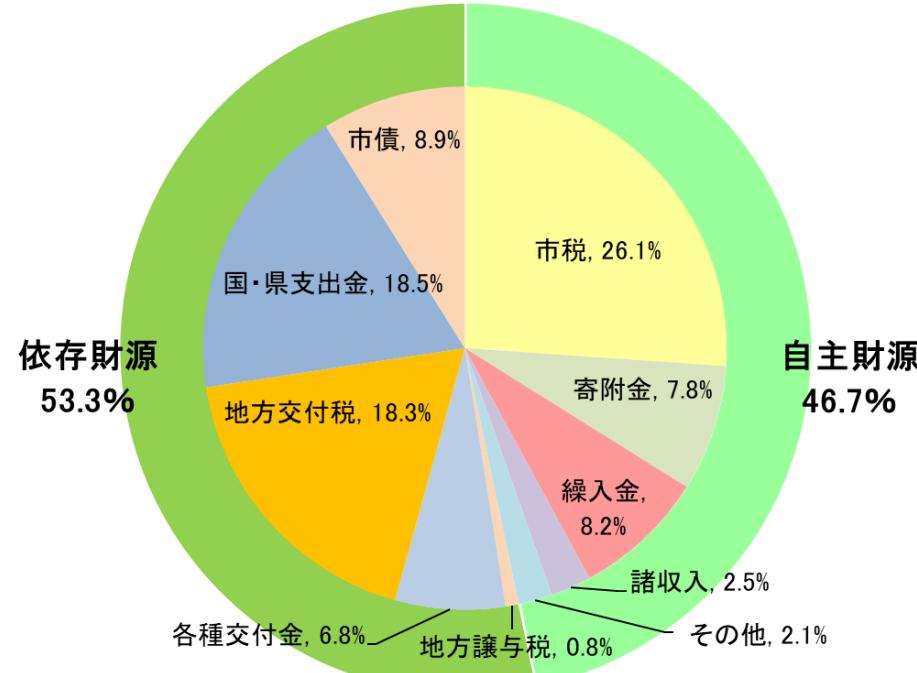
依存財源において、地方消費税交付金などの各種交付金は、地方特例交付金が税制改正による地方揮発油譲与税や環境性能割交付金などの減収分の補てんによる増により、全体で増加する見込みです。国・県支出金は、小中学生のタブレット端末更新の完了による公立学校情報機器整備費補助金の減などにより減少するとともに、市債は、分水公民館改修事業の完了などにより減少となっています。

■令和8年度 歳入の内訳

区分	予算額	対前年度増減額	増減率
自主財源	市 税	117億1,163万円	4億7,838万円 4.3%
	寄 附 金	35億 1万円	▲80万円 0.0%
	繰 入 金	36億7,221万円	▲1億5,766万円 ▲4.1%
	諸 収 入	11億1,538万円	8,633万円 8.4%
	そ の 他	9億6,627万円	▲486万円 ▲0.5%
依存財源	地方譲与税	3億5,100万円	▲1,668万円 ▲4.5%
	各種交付金	30億4,100万円	2億2,944万円 8.2%
	地方交付税	82億 円	0万円 0.0%
	国・県支出金	83億 547万円	▲4億8,834万円 ▲5.6%
	市 債	74億9,403万円 (40億2,320万円)	▲10億3,182万円 (▲6億2,810万円) ▲12.1% (▲13.5%)
合 計	483億5,700万円 (448億8,617万円)	▲9億 600万円 (▲5億 228万円)	▲1.8% (▲1.1%)

※()は借換分を除いた実質的な予算規模

■「実質的な予算額」の構成比

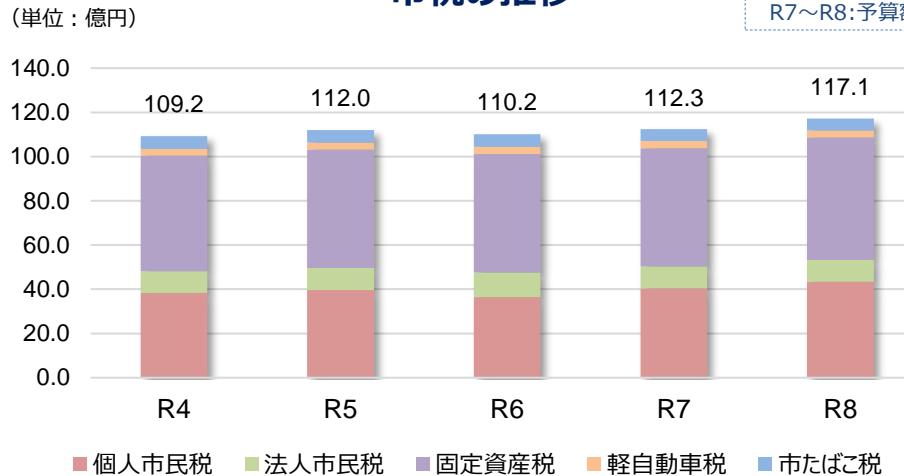


一般会計「歳入予算」の主な内容（自主財源①）

-13-

市税 117億1,163万円 前年度比4億7,838万円（4.3%）増

市税の推移



R4～R6:決算額
R7～R8:予算額

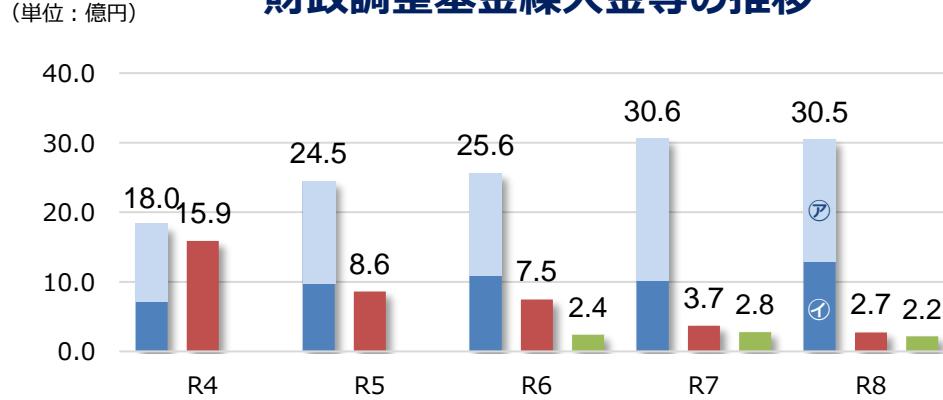
【主な増減理由】

- ・個人市民税 ⇒ 紹与所得増加等による増
- ・法人市民税 ⇒ 直近の申告状況等を踏まえた減
- ・固定資産税 ⇒ 法人の設備投資状況等を踏まえた増

区分	予算額	対前年度増減額	増減率
市民税	53億1,912万円	2億9,021万円	5.8%
個人市民税	43億4,095万円	3億1,121万円	7.7%
法人市民税	9億7,817万円	▲2,100万円	▲2.1%
固定資産税	55億4,812万円	1億9,882万円	3.7%
軽自動車税	3億 726万円	▲1,098万円	▲3.5%
市たばこ税	5億3,713万円	33万円	0.1%
合計	117億1,163万円	4億7,838万円	4.3%

繰入金 36億7,221万円 前年度比▲1億5,766万円（▲4.1%）減

財政調整基金繰入金等の推移



■財政調整基金繰入金 ■ふるさと応援基金繰入金 ■減債基金繰入金

② 前年度ふるさと応援基金積立分の繰入額 19億1,800万円（前年度比▲2億1,700万円）

① 財源対策分の繰入額 11億3,232万円（前年度比 2億1,137万円）

【主な増減理由】

- ・財政調整基金繰入金
⇒ 財源対策分の繰入を増とする一方、前年度ふるさと応援寄附金積立分の充当を減とすることによる減
- ・ふるさと応援基金繰入金
⇒ R7事業 B & G 海洋センター移転改築事業への充当の減

区分	予算額	対前年度増減額	増減率
財政調整基金繰入金	30億5,032万円	▲564万円	▲0.2%
ふるさと応援基金繰入金	2億7,369万円	▲9,510万円	▲25.8%
減債基金繰入金	2億1,782万円	▲6,077万円	▲21.8%
仲治奨学基金繰入金	8,238万円	966万円	13.3%
子ども夢基金繰入金	1,974万円	▲309万円	▲13.5%
文化財保護振興基金繰入金	1,088万円	487万円	81.1%
その他の基金繰入金	1,738万円	▲759万円	▲30.4%
合計	36億7,221万円	▲1億5,766万円	▲4.1%

■ 寄附金(ふるさと納税) の募集

使い途を設定した寄附金（ふるさと納税）を募り、寄附金から返礼品等の経費（事業費）を除いた差額分を新規・重点事業等の財源として有効に活用します。

寄附金の使い途	R8 寄附目標額	R8 歳入予算 寄附金	R8 歳出予算		積立先
			経費(事業費)	積立金	
産業の振興、教育、福祉、子育てに関すること、市長におまかせ	50億円	25億円	25億円	0億円	財政調整基金
「水道の塔」をはじめとした文化財の保存や活用等（自治体クラウドファンディング）	10億円	10億円	5億円	5億円	文化財保護振興基金
合 計	60億円	35億円	30億円	5億円	

産業の振興、教育、福祉、子育て等のための寄附

ふるさと納税を財源の前提としない予算編成とするため、寄附目標額50億円のうち経費25億円を超える額は、あらかじめ当初予算の歳入に計上せず、経費25億円と同額の25億円を当初予算の歳入に計上します。

当初予算25億円を超える寄附額は、実績に基づき補正予算に計上し、**財政調整基金**に積み立てた後、令和9年度以降の新規・重点事業等の財源として繰り入れ活用します。

文化財の保存や活用のための寄附

令和6年度から「水道の塔」をはじめとした「文化財の保存や活用等」を使い途とした寄附金を募り、寄附金から返礼品等の経費を除いた差額分を**文化財保護振興基金**に積み立てた後、文化財保存・活用のための財源として有効に活用します。

なお、令和8年度は、「新分水良寛史料館基本構想策定事業」等に繰り入れ活用します。

区分	R6（実績）	R7	R8	計
寄附目標額	9.2億円	10.0億円	10.0億円	計 29.2億円
積立目標額	4.6億円	5.0億円	5.0億円	計 14.6億円



水道の塔

■ 寄附金(ふるさと納税) の充当事業

(1) 財政調整基金（令和7年度ふるさと応援寄附金の積立分）の充当事業

令和7年度のふるさと応援寄附金のうち「産業、教育、福祉、子育て、市長におまかせ」への寄附金から経費を除いた差額分は、令和7年12月末時点の寄附実績額に基づき、令和7年度補正予算（第8号）に計上し、19億1,800万円を財政調整基金に積み立てました。

この積立分を、寄附者の意向を踏まえ、令和8年度の新規・重点事業等の財源として財政調整基金から繰入れ活用します。

なお、財政調整基金繰入金は、このほかに財源対策として11億3,232万円を計上しているため、合計で30億5,032万円となっています（13ページ参照）。

【令和8年度充当事業】

寄附の使い途	R 8 主な充当事業	充当額
① 産業 の振興にすること	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境整備支援事業 ・地場産業販路開拓事業 ・企業立地活性化事業 ・新商品新技術開発支援事業 ・産業観光受入体制整備事業 ・つばめ稼ぐ農業支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・つばめJOBサポート事業 ・環境負荷低減対策支援事業 ・ものづくり品質シンカ事業 ・燕ソウルフード観光プロモーション事業 ・踏み出せ！農業！スタートアップ事業 ・農産物消費拡大事業 	4億 660万円
② 教育、福祉、子育て にすること	<ul style="list-style-type: none"> ・Jack & Bettyプロジェクト ・長善館学習塾事業 ・小学校への熱中症対策グッズ用冷凍庫の配置（学校管理費） ・全国大会出場選手等激励会（社会教育総務費） ・子育て世帯訪問支援事業 ・赤ちゃん紙おむつ購入費助成事業 ・こどもインフルエンザ予防接種費助成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・燕スマイル・サポート・ステーション事業 ・ゆめみらいスポーツ教室 ・5歳児健康診査（母子健康診査事業） ・転ばぬ先の医療推進プロジェクト促進事業 ・保育士等確保対策事業 	7億2,890万円
③ 市長におまかせ	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもから贈る「ありがとうのプレゼント」事業 ・つばめ子育て応援企業サポート事業 ・つばめ移住・定住促進事業 ・移住家族支援事業 ・通学路等への防犯カメラ設置事業（防犯事業費） ・合併20周年記念事業 <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業CO2排出量可視化促進事業 ・つばめ若者会議事業 ・部活動の地域展開事業 	7億8,250万円

※ 充当事業の詳細は、別冊「令和8年度当初予算概要」に掲載しています。

充当額 合計 19億1,800万円

(2) ふるさと燕応援基金の充当事業

令和5年度までに特定の目的のために募ったふるさと燕応援寄附金は、ふるさと燕応援基金に積み立てた後、寄附使途事業の実施財源として基金から繰り入れ充当します。

なお、令和8年度は、サッカー場整備事業などの財源として、2億7,369万円を充当します。

【令和8年度充当事業】

積立年度	寄附の使い途	R8主な充当事業	R8充当額
H30 R元	① 小学校等のエアコン整備事業	■令和元年度小学校、幼稚園及び保育園のエアコン整備事業に係る市債の償還金	64万円
R元～ R3	② スポーツ施設の改修等	■スポーツ施設の改修工事等に係る費用の一般財源分及び市債の償還金 ・サッカー場整備事業 ・B&G海洋センター移転改築事業など	1億9,643万円
R2	③ 新型コロナウイルス感染症対策	■小中学校感染症対策施設改修（トイレ洋式化・乾式化等）事業に係る市債の償還金	1,957万円
R4 R5	④ 全天候型子ども遊戯施設整備事業をはじめとした子育て支援	■屋内子ども遊戯施設整備事業をはじめとした子育て支援の一般財源分 ・屋内子ども遊戯施設運営事業	5,705万円

充当額 合計 2億7,369万円

【ふるさと燕応援基金の積立総額・充当額等】

充当事業	基金積立総額 ①	R7までの充当額 ※②	R8充当額 ③	R9以降償還金 充当予定額 ④	活用可能残額 ①-②-③-④
① 小学校等のエアコン整備事業	2億7,210万円	2億1,680万円	64万円	5,466万円	0円
② スポーツ施設の改修等	28億 988万円	10億8,240万円	1億9,643万円	15億3,105万円	0円
③ 新型コロナウイルス感染症対策	13億5,908万円	12億1,591万円	1,957万円	1億2,360万円	0円
④ 屋内子ども遊戯施設建設事業 等	21億 571万円	16億5,299万円	5,705万円	3,936万円	3億5,631万円
合 計	65億4,677万円	41億6,810万円	2億7,369万円	17億4,867万円	3億5,631万円

※令和7年度3月補正予算までの数値を反映させたものであり、今後、令和7年度中の補正予算や事業費の確定等により変動することがあります。

一般会計「歳入予算」の主な内容（依存財源①）

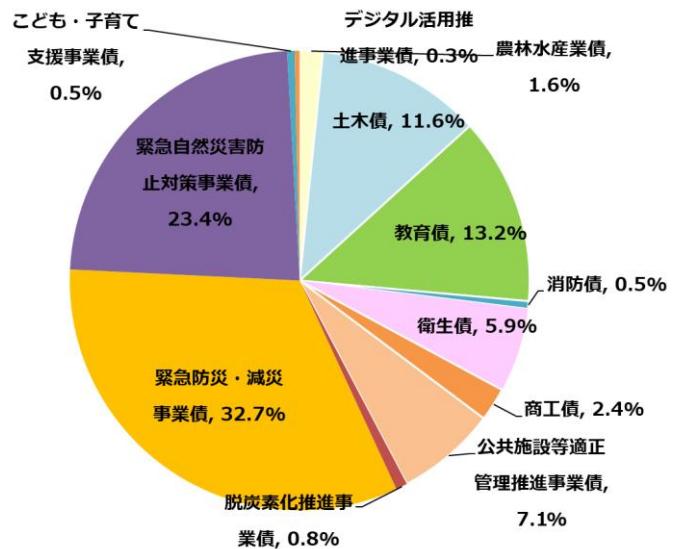
-17-

市債 74億9,403万円 前年度比▲10億3,182万円（▲12.1%）減

【主な増減理由】

- ・教育債（サッカー場整備事業の増） 5億2,880万円の増
 - ・公共施設等適正管理推進事業債 6億7,230万円の減
(B & G海洋センター移転改築事業等の減)
 - ・緊急防災・減災事業債 3億6,760万円の減
(R7事業 分水公民館改修事業等の減)

実質的な市債の構成比



区分	予算額	対前年度増減額	増減率
農林水産業債	6,520万円	4,410万円	209.0%
土木債	4億6,860万円	2,710万円	6.1%
教育債	5億3,060万円	5億2,880万円	29,377.8%
消防債	2,180万円	▲3,770万円	▲63.4%
民生債	—	▲2億3,790万円	皆減
衛生債	2億3,840万円	1億1,880万円	99.3%
商工債	9,460万円	9,460万円	皆増
公共施設等適正管理 推進事業債	2億8,380万円	▲6億7,230万円	▲70.3%
脱炭素化推進事業債	3,260万円	510万円	18.5%
緊急防災・減災事業債	13億1,590万円	▲3億6,760万円	▲21.8%
緊急自然災害防止対 策事業債	9億4,050万円	▲1,620万円	▲1.7%
こども・子育て支援事業債	2,130万円	▲3,460万円	▲61.9%
デジタル活用推進事業債	990万円	▲8,000万円	▲89.0%
県地域づくり資金地域 振興事業債	—	▲30万円	皆減
借換債	34億7,083万円	▲4億372万円	▲10.4%
合計	74億9,403万円 (40億2,320万円)	▲10億3,182万円 (▲6億2,810万円)	▲12.1% (▲13.5%)

※()は借換債を除いた実質的な市債

地方交付税 82億円 前年度同額

【主な増減理由】

- ・普通交付税は、令和8年度地方財政計画等を踏まえ前年度同額
 - ・特別交付税は、近年の交付実績を踏まえ前年度同額

区分	予算額	対前年度増減額	増減率
普通交付税	71.0億円	—	0.0%
特別交付税	11.0億円	—	0.0%
合計	82.0億円	—	0.0%

※地方財政計画に基づき、臨時財政対策債は令和7年度、令和8年度ともに0円となっています。

一般会計「歳入予算」の主な内容（依存財源②）

-18-

国庫支出金 53億 625万円 前年度比▲5億3,565万円 (▲9.2%) 減

【主な増減理由】

- ・公立学校情報機器整備費補助金
(小中学生のタブレット端末更新の減) 2億1,736万円の皆減
- ・就学前教育・保育施設整備交付金
(私立保育園等支援事業の減) 1億9,091万円の減
- ・デジタル基盤改革支援補助金
(情報システム標準化・共通化対応事業の減) 1億7,435万円の減
- ・子どものための教育・保育給付費負担金 7,212万円の増

県支出金 29億9,922万円 前年度比4,731万円 (1.6%) 増

【主な増減理由】

- ・給食費負担軽減交付金 1億8,418万円の皆増
- ・子どものための教育・保育給付費負担金 3,606万円の増
- ・遺跡発掘調査費負担金（野沖遺跡、仲沖遺跡） 1億3,025万円の減
- ・放課後児童クラブ整備費補助金 6,591万円の減
(子どもの居場所整備事業の減)

区分	予算額	対前年度増減額	増減率
国庫支出金	53億 625万円	▲5億3,565万円	▲9.2%
国庫負担金	38億1,684万円	5,636万円	1.5%
国庫補助金	14億6,257万円	▲6億 52万円	▲29.1%
委託金	2,684万円	851万円	46.5%

区分	予算額	対前年度増減額	増減率
県支出金	29億9,922万円	4,731万円	1.6%
県負担金	15億2,147万円	▲6,837万円	▲4.3%
県補助金	12億7,837万円	1億4,193万円	12.5%
委託金	1億8,938万円	▲2,625万円	▲12.2%
県貸付金	1,000万円	—	皆増

地方譲与税、各種交付金 33億9,200万円

前年度比2億1,276万円 (6.7%) 増

令和8年度地方財政計画等を踏まえて積算

【主な増減理由】

- ・地方消費税交付金 2億円の増
- ・地方特例交付金 6,400万円の増
(地方揮発油譲与税、環境性能割交付金及び軽自動車の環境性能割の減収分を加算)
- ・地方譲与税 1,668万円の減
(ガソリンの暫定税率廃止に伴う地方揮発譲与税の減)
- ・環境性能割交付金 (R8.4月より廃止予定) 4,800万円の減

区分	予算額	対前年度増減額	増減率
地方譲与税	3億5,100万円	▲1,668万円	▲4.5%
地方消費税交付金	24億 円	2億 円	9.1%
その他の税交付金	4億8,500万円	1,344万円	2.9%
地方特例交付金	1億5,600万円	6,400万円	69.6%
環境性能割交付金	0万円	▲4,800万円	▲100%
合 計	33億9,200万円	2億1,276万円	6.7%

令和8年度歳出総額は483億5,700万円です。市債の借入額と返済額を同額で計上している借換分を除いた「実質的な予算規模」は、448億8,617万円であり、令和7年度と比較して1.1%（5億228万円）の減となっています。

目的別に対前年度増減額をみると、分水公民館改修事業の完了などにより教育費が減、定額減税補足給付金（不足額給付）支給事業の完了などにより民生費が減、情報システム標準化・共通化対応事業の減や燕庁舎旧分館解体事業の完了などにより総務費が減となっています。

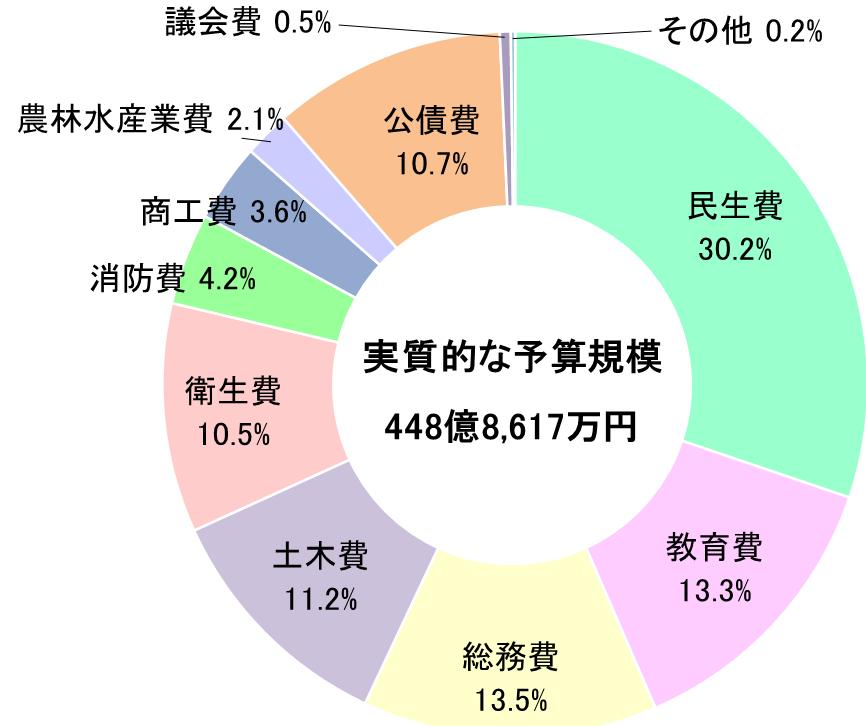
一方、保健センター改修事業などにより衛生費が増、広域6号線交差点改良事業等により土木費が増となっています。
主な増減理由は、次ページのとおりです。

■令和8年度 岁出(支出)の目的別内訳

区分	予 算 額	対前年度増減額	増減率
民 生 費	135億7,027万円	▲6億1,735万円	▲4.4%
教 育 費	59億6,709万円	▲8億8,283万円	▲12.9%
総 務 費	60億7,333万円	▲3億 781万円	▲4.8%
土 木 費	50億3,298万円	3億6,412万円	7.8%
衛 生 費	47億 647万円	5億9,619万円	14.5%
消 防 費	18億9,436万円	8,726万円	4.8%
商 工 費	16億 59万円	7,990万円	5.3%
農林水産業費	9億1,468万円	8,358万円	10.1%
議 会 費	2億3,823万円	▲1億2,879万円	▲35.1%
公 債 費	82億5,570万円 (47億8,487万円)	▲1億8,575万円 (2億1,797万円)	▲2.2% (4.8%)
そ の 他	1億 330万円	548万円	5.6%
合 計	483億5,700万円 (448億8,617万円)	▲9億 600万円 (▲5億 228万円)	▲1.8% (▲1.1%)

※()は借換分を除いた実質的な予算規模

■「実質的な予算額」の目的別割合



一般会計「歳出予算」(目的別)の主な増減理由

-20-

議会費 2億3,823万円 前年度比▲1億2,879万円 (▲35.1%) 減

- ・議場会議システム等改修事業
(議会運営費) 1億3,690万円の皆減

総務費 60億7,333万円 前年度比▲3億 781万円 (▲4.8%) 減

- ・情報システム標準化・共通化対応事業 3億7,823万円の減
- ・燕庁舎旧分館解体事業 6,881万円の皆減

民生費 135億7,027万円 前年度比▲6億1,735万円 (▲4.4%) 減

- ・私立保育園等支援事業 4億9,402万円の減
- ・定額減税補足給付金(不足額給付)支給事業 2億 374万円の皆減
- ・児童手当給付事業 1億7,119万円の減
- ・福祉施設運営事業(福祉の家解体事業等) 1億1,928万円の減
- ・子どもの居場所整備事業 1億 800万円の皆減
- ・吉田児童センター外装電気設備改修事業 9,050万円の増
- ・障がい者介護給付費支給事業 7,702万円の増
- ・生活保護事業 7,372万円の増

衛生費 47億 647万円 前年度比5億9,619万円 (14.5%) 増

- ・保健センター改修事業 2億4,148万円の皆増
- ・し尿処理場運転管理費
(衛生センター電気設備改修工事等) 1億5,144万円の増
- ・燕・弥彦総合事務組合負担金 6,360万円の増
- ・後期高齢者医療広域連合運営費 5,913万円の増

商工費 16億 59万円 前年度比 7,990万円 (5.3%) 増

- ・磨き屋一番館長寿命化改修事業 1億 520万円の皆増

土木費 50億3,298万円 前年度比3億6,412万円 (7.8%) 増

- ・広域6号線交差点改良事業 1億5,500万円の増
- ・生活道路整備事業 1億4,540万円の増
- ・雪寒事業 1億2,863万円の増
- ・道路修繕料等(道路維持関連) 1億7,163万円の増
- ・橋梁修繕事業 1億 180万円の増

※令和7年度の国補正予算を活用した繰越事業として、
社会資本整備総合交付金事業(1,326万円)をあわせて実施します。

消防費 18億9,436万円 前年度比8,726万円 (4.8%) 増

- ・常備消防事業 7,299万円の増
(燕・弥彦総合事務組合運営経費負担金等)
- ・消防施設維持管理事業 2,148万円の増
(燕消防署受変電設備改修工事等)

教育費 59億6,709万円 前年度比▲8億8,283万円 (▲12.9%) 減

- ・分水公民館改修事業 12億6,176万円の皆減
- ・B & G海洋センター移転改築事業 8億5,502万円の減
- ・I C T教育推進事業 3億4,822万円の減
(小中学生のタブレット端末の更新)
- ・サッカー場整備事業 6億1,820万円の増

※令和7年度の国補正予算を活用した繰越事業として、
埋蔵文化財事業など(6億2,397万円)をあわせて実施します。

公債費 82億5,570万円 前年度比▲1億8,575万円 (▲2.2%) 減

- ・事業債償還元金 3億9,259万円の減
(借換分 4億 372万円の減)
(借換分を除く事業債償還元金 1,113万円の増)
- ・事業債償還利子 2億 684万円の増
(今後の金利上昇を見込み増)

一般会計「歳出予算」(性質別)の概要

-21-

性質別に対前年度増減額をみると、義務的経費では、人件費が新潟県人事委員会勧告等に準拠した給与改定等により増となる一方で、公債費が借換対象となる元金の減少により減となっています。なお、借換分を除いた公債費では、今後の金利上昇を踏まえた償還利子の増加により増となります。

投資的経費では、普通建設事業費において、サッカー場整備事業や保健センター改修事業等が増加した一方、分水公民館改修事業等の大規模な建設事業の完了等により全体で減少となっています。

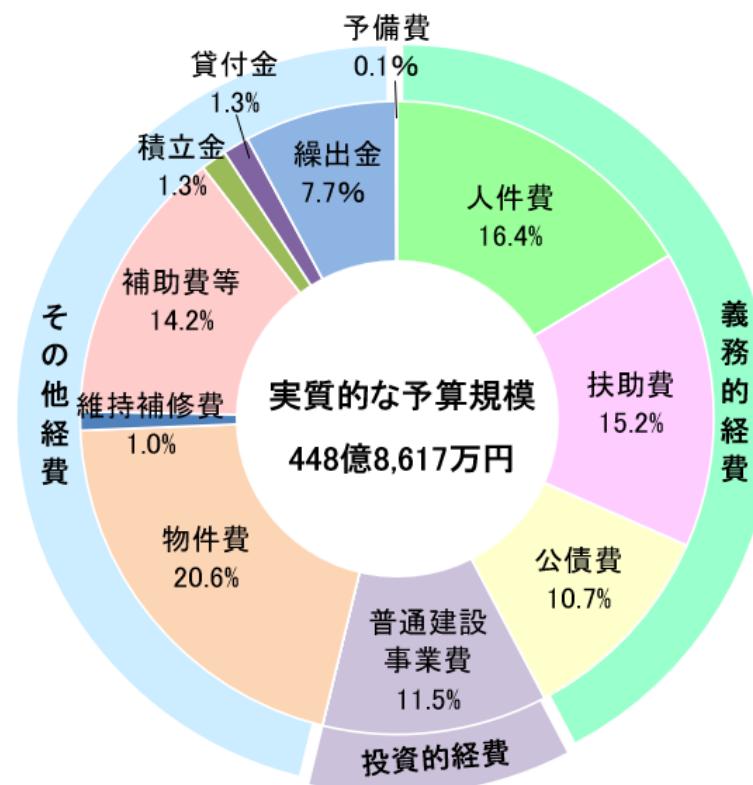
その他の経費では、物件費が情報システム標準化・共通化対応事業や小中学生のタブレット端末更新等の減少により減となる一方、維持補修費が道路や消雪パイプ等の公共インフラの更新等の増加により増となっています。

■令和8年度 岁出(支出)の性質別内訳

区分	予算額	対前年度増減額	増減率
義務的経費	224億5,551万円 (189億8,468万円)	1億8,205万円 (5億8,577万円)	0.8% (3.2%)
人件費	73億7,439万円	3億7,605万円	5.4%
扶助費	68億1,543万円	▲825万円	▲0.1%
公債費	82億6,570万円 (47億9,487万円)	▲1億8,575万円 (2億1,797万円)	▲2.2% (4.8%)
投資的経費	51億5,784万円	▲10億6,104万円	▲17.1%
普通建設事業費	51億5,784万円	▲10億6,104万円	▲17.1%
災害復旧費	0万円	—	0.0%
その他経費	207億4,365万円	▲2,700万円	▲0.1%
物件費	92億3,622万円	▲2億4,871万円	▲2.6%
維持補修費	4億3,192万円	1億 887万円	33.7%
補助費等	63億6,917万円	6,350万円	1.0%
積立金	5億9,173万円	2,541万円	4.5%
貸付金	6億 174万円	1,586万円	2.7%
繰出金	34億8,287万円	807万円	0.2%
予備費	3,000万円	—	0.0%
合 計	483億5,700万円 (448億8,617万円)	▲9億 600万円 (▲5億 228万円)	▲1.8% (▲1.1%)

※()は借換分を除いた実質的な予算規模

■「実質的な予算額」の性質別割合



一般会計「基金残高」の状況

-22-

基金全体の合計残高は、令和7年度末で94億3,600万円、令和8年度当初予算に計上した繰入金と積立金を反映した基金残高は、63億5,553万円となっており、市民1人当たりに換算すると8万4,454円となっています。

このうち、財政調整基金残高は、令和7年度末で43億5,504万円、令和8年度当初予算に計上した繰入金と積立金を反映した基金残高は、13億853万円となっていますが、今後、繰越金等を活用して積み戻していく予定です。

なお、財政調整基金、減債基金、ふるさと応援基金を合わせた財源対策的基金残高は、令和7年度末で80億1,190万円、令和8年度当初予算に計上した繰入金と積立金を反映した基金残高は、44億7,991万円となっています。

■基金残高

区分	令和7年度 末残高見込	令和8年度当初予算額		令和8年度 当初予算時 末残高	前年度予算時 残高との比較
		繰入金	積立金		
財源対策的基金	財政調整基金	43億5,504万円	30億5,032万円	381万円	13億 853万円
	減債基金	12億6,945万円	2億1,782万円	201万円	10億5,364万円
	ふるさと応援基金	23億8,741万円	2億7,369万円	402万円	21億1,774万円
	小計	80億1,190万円	35億4,183万円	984万円	44億7,991万円
その他基金	ガス事業譲渡清算金活用基金	2億1,677万円	—	37万円	2億1,714万円
	社会福祉事業基金	2,846万円	576万円	—	2,270万円
	環境整備基金	48万円	29万円	0万円	19万円
	森林環境保全基金	3,187万円	933万円	1,005万円	3,259万円
	産業振興事業基金	1,015万円	—	2万円	1,017万円
	仲治奨学基金	1億3,124万円	8,238万円	5,443万円	1億 329万円
	義務教育施設整備基金	162万円	—	0万円	162万円
	子ども夢基金	3,471万円	1,974万円	1,377万円	2,874万円
	入学準備金貸付基金	477万円	200万円	163万円	440万円
	文化財保護振興基金	9億6,403万円	1,088万円	5億 163万円	14億5,478万円
小計		14億2,410万円	1億3,038万円	5億8,190万円	18億7,562万円
合計		94億3,600万円	36億7,221万円	5億9,174万円	63億5,553万円
					12億8,173万円

※令和7年度末残高見込及び令和8年度当初予算時末残高の数値は、令和7年度3月補正予算までの数値を反映させたものであり、今後、令和7年度中の補正予算や事業費の確定等により変動することがあります

※市民1人当たりの残高は、令和7年12月末人口75,254人(住基台帳人口)に基づき算出

令和8年度末の市債残高は、B&G海洋センター移転改築やサッカー場整備などの建設事業のほか、老朽化が進む公共施設や道路等の公共インフラの改修・修繕を交付税措置のある有利な市債を活用して実施するため、その他の市債で増加します。

一方、合併特例債及び臨時財政対策債は償還が進み減少するほか、今後の金利上昇を踏まえ後年度の償還利子額を削減することを目的に、交付税措置のない地方債を対象に繰上償還を行うこととしたため、令和8年度末市債残高は、前年度末から3億3,992万円減少し、425億2,023万円となる見込みです。

なお、交付税措置を除いた実質的な市債残高は、市債残高総額の3分の1程度に抑えられており、市民1人当たりでは15万3,991円となります。

今後も、交付税措置のある有利な市債の活用や交付税措置のない市債の繰上償還などを行い、次代を担うこどもたちに過大な負担を残すことがないよう、将来負担の抑制に努めてまいります。

■市債残高

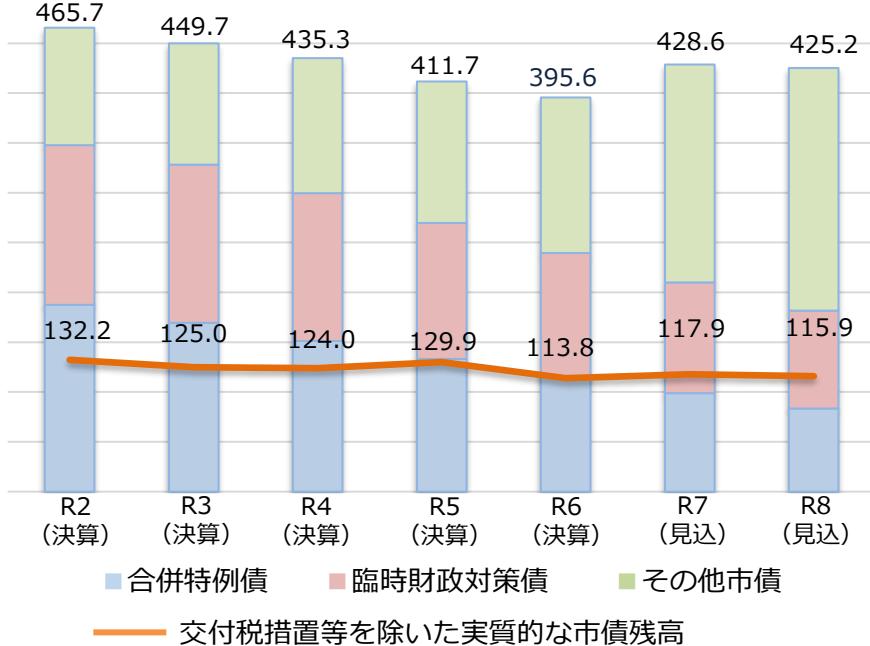
区分	令和7年度末 残高見込	令和8年度当初予算額		令和8年度 増減額	令和8年度末 残高見込	構成 割合	令和8年度末残高 交付税措置見込	令和8年度末の 実質的な残高見込
		借入額	償還額					
合併特例債	98億8,049万円	—	15億2,518万円	▲15億2,518万円	83億5,531万円	19.6%	58億4,871万円	25億 660万円
臨時財政対策債	111億 996万円	—	12億8,831万円	▲12億8,831万円	98億2,165万円	23.1%	98億2,165万円	0円
その他市債 (うち繰上償還)	218億6,970万円	40億2,320万円	15億4,963万円 (9,292万円)	24億7,357万円 (▲9,292万円)	243億4,327万円	57.3%	152億6,142万円	90億8,185万円
合 計	428億6,015万円	40億2,320万円	43億6,312万円	▲3億3,992万円	425億2,023万円	100.0%	309億3,178万円	115億8,845万円

*令和7年度及び令和8年度末残高見込の数値は、令和7年度3月補正予算までの数値を反映させたものであり、今後、令和7年度中の補正予算や事業費の確定等により変動することがあります。

*市民1人当たりの残高は、令和7年12月末人口75,254人(住基台帳人口)に基づき算出

市債残高の推移

(単位：億円)



第3次燕市総合計画の 戦略体系に基づく主要事業

- 戦略 1 定住人口戦略
- 戦略 2 活動人口戦略
- 戦略 3 交流・応援（燕）人口戦略
- 戦略 4 人口戦略を支える都市環境の整備
- 戦略 5 持続可能な行財政運営の推進



20th

令和8年3月20日は、平成18年3月20日に1市2町が合併して誕生した新「燕市」の合併20周年の日です。
これを未来に向かって新たなスタートを切る機会と捉え、合併20周年記念事業を行います。
合併20周年記念事業には、事業名に左記マークを付記しています。

DX

デジタル技術を活用し、業務の効率化等を図る自治体DX事業には、事業名に左記マークを付記しています。

戦略1 定住人口戦略

基本方針(1) 活力ある産業の振興

- | | | |
|-------------|-------|-------|
| 施策① 商工業の活性化 | | 26ページ |
| 施策② 農業の振興 | | 28ページ |

基本方針(2) 次代につなぐ教育の推進・子育て支援

- | | | |
|--------------|-------|-------|
| 施策① 教育の充実 | | 29ページ |
| 施策② 子育て支援の充実 | | 32ページ |

基本方針(3) 健やかに暮らせる医療福祉の充実

- | | | |
|---------------|-------|-------|
| 施策① 保健医療体制の強化 | | 35ページ |
| 施策② 高齢者福祉の充実 | | 36ページ |
| 施策③ 障がい福祉の充実 | | 37ページ |

基本方針(4) 地域に根付く移住・定住の促進

- | | | |
|------------------|-------|-------|
| 施策① 移住・定住希望者への支援 | | 38ページ |
|------------------|-------|-------|

戦略2 活動人口戦略

基本方針(1) いきいきと輝く健康づくり・生きがいづくり

- | | | |
|------------------|-------|-------|
| 施策① 健康づくりの推進 | | 39ページ |
| 施策② スポーツの推進 | | 40ページ |
| 施策③ 生涯学習・文化活動の充実 | | 41ページ |

基本方針(2) つながり、支え合う地域社会の実現

- | | | |
|--------------|-------|-------|
| 施策① 地域福祉の推進 | | 42ページ |
| 施策② 市民活動の活性化 | | 43ページ |

基本方針(3) 一人ひとりが活躍できるまちづくり

- | | | |
|----------------------|-------|-------|
| 施策① 若者活動の活発化 | | 43ページ |
| 施策② 誰もが活躍しやすい環境づくり | | 44ページ |
| 施策③ 人権尊重・多文化共生のまちづくり | | 44ページ |

戦略3 交流・応援(燕) 人口戦略

-25-

基本方針(1) 魅力あふれる観光の振興

- | | | |
|--------------|-------|-------|
| 施策① 着地型観光の振興 | | 45ページ |
|--------------|-------|-------|

基本方針(2) つながりを活かした燕市のファンづくり

- | | | |
|-------------------|-------|-------|
| 施策① 広域連携・都市交流の推進 | | 46ページ |
| 施策② 「ふるさと燕」のファン拡大 | | 46ページ |

戦略4 人口戦略を支える都市環境の整備

基本方針(1) 安全で安心して暮らせるまちづくり

- | | | |
|----------------|-------|-------|
| 施策① 災害に強いまちづくり | | 47ページ |
| 施策② 防犯・交通安全の推進 | | 47ページ |
| 施策③ 良好な生活環境の保全 | | 48ページ |
| 施策④ 脱炭素社会づくり | | 48ページ |

基本方針(2) 持続可能な都市基盤の構築

- | | | |
|-----------------------|-------|----------|
| 施策① 空き家対策とまちなかの賑わいづくり | | 49ページ |
| 施策② 道路・公園の整備 | | 50・51ページ |
| 施策③ 公共交通の利便性向上 | | 51ページ |
| 施策④ 水道水の安定供給と汚水処理の効率化 | | 52ページ |

戦略5 持続可能な行財政運営の推進

各種計画の見直し 公的資産のマネジメント 53ページ

行政サービスの最適化 公債費の適正管理

歳入の確保 職員の政策形成力の向上

自治体DXの推進 内部事務の効率化 54ページ

- ① 新たな産業の創出により、産地産業のさらなる活性化を目指します。
- ② 企業における人材の活躍促進を図るとともに、工場等への暑さ対策を支援し、働きやすい環境づくりを促進します。
- ③ 市内企業が見本市等に出展できるよう支援し、国内外での販路開拓と新たな顧客の獲得を促進します。

新たな産業の創出

新産業創出事業 新

(次世代産業育成支援事業)

【予算額】71万円 (予算書P.163)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

新たな産業の創出に向け、産業界と協働で機械加工等の技術学会に参加するとともに、新産業分野について調査研究を行います。

【担当課】商工振興課



多様な人材活躍促進

地域の人事部 拡

(つばめJOBサポート事業)

【予算額】80万円 (予算書P.137)

産業団体や金融機関等と連携し、市内企業が、外部の専門スキルを持った人材を兼業・副業人材として受け入れる取組を実施します。

◇人材の活躍を促進するためのセミナー
(経営者向け)

人材は「資本」



【担当課】商工振興課

働きやすい環境づくりを支援

工場等暑熱対策総合支援事業 新

(働きやすい職場環境整備支援事業)

【予算額】3,600万円 (予算書P.139)

従業員の作業効率及び働きやすさの向上のため、従来の工場等における屋根や壁に施工する遮熱・断熱工事に加えて、地下水クーラーの導入や窓の遮熱工事を補助対象とします。

★地下水クーラー導入工事

◇対象経費：地下水クーラー導入工事費 等

◇補助率：1/2 ◇上限額：150万円

★窓の遮熱工事

◇対象経費：小規模事業者が

窓に施工する遮熱対策

◇補助率：2/3 ◇上限額：50万円

★遮熱断熱工事

◇対象経費：工場等における屋根や壁の遮熱・断熱工事費

◇補助率：1/3

◇上限額：最大200万円（施工面積に応じて決定、つばめ子育て応援企業プラス認定企業の場合は上限額が2割UP）

【担当課】商工振興課



国内外への販路拡大

地場産業販路開拓事業 拡

【予算額】3,429万円 (予算書P.153)

国内外での販路開拓を目的とした見本市等への出展に対し、予算額を拡充して支援することで、さらなる受注機会の拡大等を図ります。

★見本市出展小間料補助金

◇補助率：1/2

◇上限額：25万円

◇対象経費：

会場借上料（小間料）



◇補助回数：1事業者あたり2回/年度まで

※ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザ

インコンクールの受賞企業は3回まで

★海外見本市出展サポート事業補助金

◇補助率：1/2

◇上限額：

初回75万円、2回目50万円、3回目25万円

◇対象経費：会場借上料（小間料・現地スタッフ委託料）、展示装飾・設営費、広告宣伝費、展示品等輸送費 等

◇補助回数：1事業者あたり1回/年度まで

【担当課】商工振興課

- ④ 企業のDXを促進し、付加価値と生産性の向上を図ります。
- ⑤ 事業承継に関する調査を行うほか、ものづくり品質の向上支援を強化し、地域産業の競争力を高めます。
- ⑥ 工場等の取得や小規模事業者の経営改善に対する金融支援を強化し、地域産業の発展を促進します。

企業のDXを促進

DX計画策定支援補助金 新 (中小企業DX推進支援事業) 【予算額】200万円 (予算書P.155)

企業がDX導入を進める第一歩を後押しするため、DX導入に必要なロードマップや計画策定等の費用を補助します。

- ◇補助率：1/2
- ◇上限額：20万円
- 【担当課】商工振興課



スマートファクトリー加速化補助金 新 (中小企業DX推進支援事業) 【予算額】1,100万円 (予算書P.155)

企業の生産性向上や競争力強化を目的に、デジタル技術を活用したスマートファクトリー化に関する経費を国の補助金に上乗せしてさらに支援します。

- ◇補助率：1/2
- ◇上限額：200万円
- 【担当課】商工振興課



事業承継に関する調査

事業承継基礎調査事業 新 (基盤技術人材育成支援事業) 【予算額】138万円 (予算書P.163)

市内の製造業・卸売業を対象に、事業承継に関する調査を行い、サプライチェーンの維持・発展に効果的な支援の検討を進めます。 

【担当課】商工振興課

ものづくり品質のさらなる向上

ISO9001等認証取得支援補助金 拡 (ものづくり品質シンカ事業) 【予算額】200万円 (予算書P.163)

ISO取得等に関する経費を、上限額及び対象となる認証規格を拡充して補助することで、地場製品の付加価値向上につなげます。

- ◇対象経費：認証取得審査料、コンサル料 等
※対象の認証規格を3種追加
- ◇補助率：1/2
- ◇上限額：30万円→50万円
- 【担当課】商工振興課



企業立地を推進

工場等取得資金利子補給金 新 (企業立地活性化事業) 【予算額】200万円 (予算書P.161)

工場新設や空き工場の取得を支援し、工業団地の活性化と新たな産業発展につなげます。

- ◇対象資金：工場新設等のための資金
- ◇補助率：支払い利子額の1/2
- ◇上限額：500万円/年
- 【担当課】商工振興課



金融支援を強化

マル経融資利子補給金 新 (中小企業持続化支援事業) 【予算額】370万円 (予算書P.151)

昨今の物価・原材料の高騰を踏まえ、マル経融資（小規模事業者経営改善資金）の利子について補給を行い、小規模事業者の負担軽減を図ることで産業の発展を促進します。

- ◇対象資金：マル経融資（500万円まで）
- ◇補助率：元本に対し年2%
- ◇上限額：10万円/年
- 【担当課】商工振興課



- ① 農業の担い手確保に向けた支援を行うほか、市内農産物の消費活性化を支援します。
- ② 経営規模の拡大や農作業の省力・効率化、農産物の販路拡大等を支援し、持続可能な農業経営を目指します。
- ③ 有害鳥獣への対策を支援し、安心して農業に取り組める環境づくりを進めるほか、国上山周辺の森林を整備します。

担い手確保と農産物の消費拡大

踏み出せ！農業！スタートアップ事業 拡 【予算額】704万円（予算書P.143）

新たな担い手確保に向け、就農を目指す地域おこし協力隊を採用するとともに、「農ライフ」体験を受け入れた農業者の支援等を行います。

★地域おこし協力隊による情報発信

地域おこし協力隊を新たに採用し、就農に向けた活動や本市の農業のPR等を行います。

★つばめ「農ライフ」体験サポート事業

農業への理解を深めることのできる「農ライフ」体験の受入支援を新たに行います。

◇支給額：最大9万円／1人

◇体験内容：主要な農作業、

農家との交流（食事、宿泊）等



【担当課】農政課

農産物消費拡大事業 拡 20th

【予算額】492万円（予算書P.145）

市内農産物の消費活性化を図るため、合併20周年を記念した取組を実施します。

◇つばめ食べて応援キャンペーン

◇飛燕米・新大コシヒカリ生産・販売促進 等

【担当課】農政課

持続可能な農業経営

つばめ稼ぐ農業支援事業 新

【予算額】3,100万円（予算書P.145）

持続的な農業経営を目指し、既存補助事業をパッケージ化・拡充することで、作業効率化や販路拡大等を支援します。

※認定農業者等の場合、各上限額を2倍に引き上げます。

※若手農業者等の場合、各補助率を1/2に引き上げます。

★規模拡大支援

規模拡大に必要な設備導入費を補助します。

◇補助率：1/4（上限100万円）

★省力化・低コスト化支援（ハード支援）

設備・機器（ドローン、直播機等）の導入に対して補助します。

◇補助率：1/3（上限50万円）

★省力化・低コスト化支援（ソフト支援）

アプリ（栽培管理、経営管理等）の使用料に対して新たに補助します。

◇補助率：10/10（上限1万5千円）

★販路拡大支援

販路開拓に向けたECサイト出店等の経費のほか、新たに見本市への出展経費を補助します。

◇補助率：1/3（上限25万円）



★その他

園芸作物の新規導入・拡大に係る経費、もみ殻散布機等の循環型農業を推進する経費や農産物の品質向上に取り組む経費に対して補助します。
【担当課】農政課

有害鳥獣への対策と森林整備

有害鳥獣対策事業 新

【予算額】529万円（予算書P.145）

農作物被害を防止・軽減するため、鳥獣被害対策に向けた電気柵の補助や研修会等を行います。

★電気柵設置支援補助金

電気柵の資材購入費を補助します。

◇補助率：1/2

◇上限額：団体25万円、個人5万円



★電気柵設置実地研修会

電気柵の設置及び維持管理の方法を学びます。

★集落環境診断研修会

鳥獣被害の状況把握・原因分析を行います。

【担当課】農政課

森林整備事業 拡 (森林整備費)

【予算額】685万円（予算書P.151）

燕市森林整備推進プランに基づき、間伐等の森林整備を進めます。
【担当課】農政課

- ① 時代の変化に対応した能力の育成に取り組み、こどもたちの学ぶ力を育みます。
- ② 家庭の教育負担を軽減し、地域ぐるみで多様な活動を支えることで、こどもたちの健やかな成長を後押しします。

時代の変化に対応した教育

情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト 【予算額】702万円（予算書P.189）

児童生徒が情報を正確に理解する力を身につけ、自立した社会人となるために、引き続き「読解力」育成プロジェクトの取組を進めます。

◇対象：小学1年生～中学3年生

【担当課】学校教育課



STEAM教育推進事業

【予算額】216万円（予算書P.189）

急速に発展する技術や多様化する社会に対応できる人材を育成するため、STEAM教育推進事業を実施します。あわせて、長期休暇中の利用体制整備や部活動の地域展開との連携により、その効果を市内全域へ波及させることで教育の質の向上を図ります。

◇実施校：燕中学校



S Science
T Technology
E Engineering
A Arts
M Mathematics

【担当課】学校教育課

学校給食の負担軽減

学校給食費保護者負担の軽減 拡

（学校給食管理運営費）

【予算額】9,519万円（予算書P.219）

※関連する予算額のみを抜き出しています。

★小学校給食費の負担軽減

国の交付金を最大限に活用し、令和8年度は小学校給食費の保護者負担額をゼロとします。
◇保護者負担額：月4,850円→保護者負担なし

R8

小学校給食費（月6,700円）

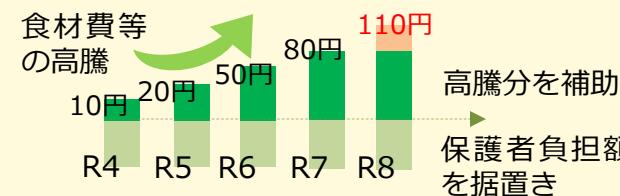
国・県交付金
(月5,200円)

市負担
(月1,500円)

※R9年度以降は、国の制度や財政状況の変化により、保護者負担が発生する場合もあります。

★中学校給食費の負担軽減

食料品価格の高騰が続く中、令和4年度から継続している給食材料費の上昇分に対する公費負担を拡充し、保護者負担額を据え置きます。
◇1食あたり110円を補助（30円上乗せ）



持続可能な課外活動環境の整備

部活動の地域展開事業 拡

【予算額】3,757万円（予算書P.201）

これまで実施してきた土日部活動の地域展開に加え、祝日・平日を含めた段階的な地域展開を推進することで、引き続き、部活動に代わる新たな受け皿として「未来いきいき地域クラブ」の整備を進めます。

◇対象：スポーツ・吹奏楽を除く文化活動
→吹奏楽を含むすべてのクラブ

◇実施日：すべての土日→
すべての土日に加え、
祝日・平日の活動日を1日拡大

◇管理・運営システムの拡充

◇クラブサポーターの本格導入

【担当課】学校教育課



- ③ こども一人ひとりに寄り添い、安心できる校内外の居場所づくりや学習支援を行う体制を構築します。
- ④ 登下校や放課後等も含め、校内外を問わずこどもたちが安全・安心に過ごすことができる環境を整備します。

こどもに寄り添う支援体制の構築

燕市不登校対策

～COCOLO“T”(燕版COCOLOプラン)～ 新

(燕スマイル・サポート・ステーション事業、教育支援センター事業)

【予算額】5,059万円(予算書P.191)

全ての児童生徒が安心して学べる環境を整えるため、国の「COCOLOプラン」に沿った燕市独自の不登校対策を推進し、多様な学びの場の確保や相談体制の充実を図ります。

★校内教育支援センター

◇小学校：全14校（週5日3時間）

◇中学校：全5校（週5日4時間）

★校外教育支援センター

◇市内3か所すべて：週5日6時間

★先進地視察

新たに先進地事例を調査し、燕市独自の不登校支援に反映することで、より実効性の高い支援体制の構築を目指します。

【担当課】学校教育課



こころっと
「COCOLO“T”」のTは
・ Tsubame
・ Team の “T”
・ Together

燕市独自の不登校支援の
意味を込めました



子どもの健康と安全の確保

小学校への熱中症対策グッズ用

冷凍庫の設置 新 (学校管理費)

【予算額】102万円(予算書P.193)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

近年の記録的な猛暑からこどもたちの健康を守るため、登下校時に着用する「冷感グッズ」の冷却・保管を目的とした冷凍庫をモデル校へ試行導入します。実施効果を検証し、学校における熱中症対策のさらなる充実を図ります。

◇モデル校：燕、吉田、分水の各地区1校

【担当課】学校教育課

放課後児童受入体制の充実

燕市おおせき友遊くらぶ第一・第二の

開設 新 (子どもの居場所運営事業)

【予算額】2,038万円(予算書P.107)

新施設の完成に伴い、放課後における児童の安全な居場所の確保を目的として「燕市おおせき友遊くらぶ」を開設し、こどもたちがのびのびと過ごせる場を提供します。

【担当課】学校教育課



学校環境の改善

小中学校屋外運動場改修事業 新

(小学校屋外運動場改修事業、中学校屋外運動場改修事業) (予算書P.197、201)

【予算額】500万円

【事業期間】令和8～12年度

水はけの悪化や雑草の繁茂など、学校活動に支障をきたしているグラウンドを計画的に改修します。こどもたちが安全・安心に体育授業や屋外活動に取り組める環境を確保します。

◇令和8年度：

・ 設計（小池小学校、燕北中学校）

【担当課】学校教育課

中学校冷暖房設備改修事業

【R7繰越予算額】1億4,050万円

【事業期間】令和6年度～10年度

生徒の学習環境の改善に向けて、老朽化が進む市内中学校全教室の冷暖房設備を、計画的に更新します。

◇令和8年度：

・ 設計（吉田中学校）

・ 改修工事（燕中学校、分水中学校）

【担当課】学校教育課

- ⑤ふるさと教育や燕らしい特色ある教育を通して、こどもたちの個性を伸ばし、新たな学びへの興味・関心を育みます。
- ⑥自律的に学び続けるこどもを育むとともに、学びを支える制度を拡充します。

特色ある教育の推進「つばめ長善プロジェクト」

Jack & Bettyプロジェクト 拡

【予算額】4,350万円 (予算書P.183)

英語によるコミュニケーション能力の向上を図るレッスンを行い、グローバル社会で活躍する人材を育成します。あわせて、スピーチコンテストの参加者の中から親善大使を選出し、オーストラリアへ派遣します。

【担当課】学校教育課



燕ジュニア検定 拡 20th

【予算額】43万円 (予算書P.185)

燕市の歴史や文化に関する検定を通じ、ふるさと燕への誇りと愛着を育みます。加えて、合併20周年に関する内容を拡充することで、地域への誇りと愛着を深めます。

◇問題集：書籍→デジタル化、

20周年記念問題の追加

【担当課】学校教育課

長善館学習塾 拡

【予算額】76万円 (予算書P.185)

さまざまな体験活動や人との関わりから、自立心や助け合う心、問題解決能力を育みます。

◇内容：市内地域学習、国上山キャンプ体験

【担当課】学校教育課

つばくろロボキッズ教室 拡

(燕ロボット・プログラミング教室事業)

【予算額】96万円 (予算書P.189)

自律動作型ロボットの操作を通じ、プログラミングへの関心や学び続ける意欲を高めます。

◇対象：小学3年生～中学2年生
→小学3年生～中学3年生



◇内容：初級レベルから、

世界大会を目指す上級レベルまで展開

【担当課】学校教育課

広報つばめ「子ども版」発行事業 拡 20th

(広報広聴費)

【予算額】119万円 (予算書P.65)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

市内小学生がこども記者として、本市の魅力を取材し、広報紙を制作する活動を通して、地域への愛着を育みます。

◇取材テーマに合併20周年を意識した視点を追加



【担当課】広報秘書課



未来につなぐ・夢を描く

つばめっ子が描く未来の燕事業 臨 20th

【予算額】80万円 (予算書P.189)

合併20周年を契機として、小中学生を対象とした絵画コンクールを実施します。自由な発想で「未来の燕」を表現することで、将来を担うこどもたちに地域への関心を深めてもらいます。

◇テーマ：20年後の燕が
こんなまちであってほしい

◇対象：小学1年生～中学3年生

【担当課】学校教育課

学びを支える体制の充実

学びをサポートする職員の増員 拡 (学校教育管理費)

【予算額】2,751万円 (予算書P.183)

※関連する予算額のみを抜き出しています

教員が指導に専念できるよう、校内の庶務事務を行う「スクール・サポート・スタッフ」を増員します。

◇スクール・サポート・スタッフ：
8人 → 10人
【担当課】学校教育課

- ① 子育て相談体制の強化や保育人材の確保を図るとともに、保育の質の向上に取り組みます。
- ② こどもまんなか社会の実現に向けた各種施策に取り組むとともに、充実した子育て環境を発信します。

子育て相談体制の強化

子育てコンシェルジュ育成事業 拡 （児童福祉総務費） 【予算額】75万円（予算書P.99）

※関連する予算額のみを抜き出しています。

市内子育て支援センター等の相談体制を強化するため、相談支援や関係機関との連携等の業務知識を身に付ける研修を実施し、修了者を「子育てコンシェルジュ」として各施設に追加配置します。

【担当課】こども未来課

こどもまんなかの推進

こども会議（仮称）新 （児童福祉総務費） 【予算額】8万円（予算書P.99）

※関連する予算額のみを抜き出しています。

こどもたちの社会参画と意見反映を促進するため、燕市の未来を担うこどもたちから幅広く意見を聞く取組としてこども会議を開催します。

◇対象：市内の小・中学生（公募予定）

【担当課】こども未来課

共育ての推進

平日子育てイベント（児童福祉総務費） 【予算額】23万円（予算書P.99）

※関連する予算額のみを抜き出しています。

週末や育休中だけでなく、普段から子育てに参加する環境形成と気運醸成を目的に、親子で参加できる平日イベントを開催します。

◇実施回数：年3回程度

◇内容：寿司づくり体験、陶芸教室 など

【担当課】こども未来課

保育人材の確保・育成

子育て支援員の職の新設新 （保育園運営費） 【予算額】197万円（予算書P.101）

※関連する予算額のみを抜き出しています。

子育て支援員研修（地域型保育コース）を修了した保育補助員を市の資格免許職「子育て支援員」に位置づけ、職務に応じた任用を行い、質の高い保育人材の確保につなげます。

【担当課】こども未来課

ミドルリーダーの活躍による保育の質向上推進事業（保育園運営費） 【予算額】13万円（予算書P.101）

※関連する予算額のみを抜き出しています。

中堅保育士・保育教諭の人材育成を図るとともに、保育の質を向上させるため、有識者の助言のもと、互いの保育の実践内容を学び合うほか、横展開に向けて各園の研修会を企画します。

【担当課】こども未来課



子育て環境の魅力発信

うさぎもちハレラテつばめの運営・利用促進（屋内こども遊戯施設運営事業、保育園運営費） 【予算額】6,198万円（予算書P.113、103）

※関連する予算額のみを抜き出しています。

指定管理者との連携のもと、うさぎもちハレラテつばめの魅力を発信し、さらなる利用促進を図ります。また、市内保育園等の園活動で利用してもらうためバス送迎を行います。

【担当課】こども未来課



- ③ 安全・安心な保育環境を整備するとともに、保育園等での働きやすい職場環境づくりを進めます。
- ④ 将来の結婚・出産・子育てをはじめとしたライフデザインの形成を支援します。

保育環境の整備

玄関ドアロック・防犯カメラ導入事業 新 (保育園等ICT化推進事業) 【予算額】2,280万円 (予算書P.103)

安全・安心な保育環境の整備に向け、不審者などから園児や職員を守る自衛的な対策として、公立園に玄関ドアロックシステムを導入するほか、防犯カメラを設置します。

【担当課】こども未来課



保育ICTアプリの機能拡張 拡 DX (保育園運営費) 【予算額】252万円 (予算書P.103)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

公立園での業務効率化と保育の質の向上を図るために、保育ICTアプリの機能を拡充します。

- ◇保育計画等の書類作成支援機能の追加
- ◇写真による保育記録の作成機能・保護者への共有機能の追加

【担当課】こども未来課

私立園ICT化推進補助事業 新 (私立保育園等支援事業)

【予算額】480万円 (予算書P.103)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

私立園の業務効率化等を支援するため、システム導入・機器更新など現場の課題に合わせて活用できるICT化補助制度を創設します。

- ◇対象経費：ICT環境の整備に要する費用
- ◇補助率：1/2
- ◇上限額：40万円

【担当課】こども未来課

保育園版スクールロイヤー導入事業 新 (保育園運営費) 【予算額】60万円 (予算書P.103)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

公立園で発生する様々な問題に対し、弁護士からの法的な助言や支援を受けることができる体制を整備することで、トラブル等の深刻化防止・早期解決を図るとともに、対応する保育士の心理的負担を軽減します。

【担当課】こども未来課

若者のライフデザイン支援

プレコンセプションケア事業

【予算額】23万円 (予算書P.125)

将来の妊娠・出産に向けた健康づくりの大切さやライフデザインを考えるきっかけづくりとして、市内の中学生や高校生等に対し、年代に合わせた形式でセミナー等を開催します。

- ◇食に関する健康管理セミナー（中学生）
- ◇赤ちゃんとの交流会（高校生）
- ◇プレコンセプションケアセミナー（高校生・市内在勤の若手社会人）

【担当課】子育て応援課

男女の出会いサポート事業 拡

【予算額】204万円 (予算書P.69)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

若い世代に対し、結婚・出産を前向きに考える機会や相談の場を提供し、結婚に関する機運醸成を図ります。

- ◇男女の出会いサポート推進委員会の創設
- ◇燕結び隊（結婚支援ボランティア）の育成
- ◇新潟県婚活マッチングシステムの登録料補助（1/2補助→全額補助）
- ◇ライフデザインセミナーの開催

【担当課】地域振興課

- ⑤ 子育てに関わる多様なニーズに対応し、安心してこどもを産み育てられる環境を整備します。
- ⑥ 各種予防接種の助成拡充や定期接種化により、子育て世帯の経済的な負担軽減を図ります。

安心してこどもを産み育てられる環境の整備

産後ケア事業 拡

【予算額】 1,170万円 (予算書P.125)

産後も安心して母子ともに健やかな生活を送れるよう、体調に関するケアや育児指導、サポートを行うことで、不安解消や産後うつ等の未然防止につなげます。

- ◇宿泊型：7日まで
- ◇デイサービス型・アウトリーチ(訪問)型：
合わせて7回まで→それぞれ7回まで
- 【担当課】子育て応援課

新潟医療福祉大学との連携事業 新 (母子健康診査事業)

【予算額】 40万円 (予算書P.123)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

新潟医療福祉大学との「子どもの成長と発達支援に関する連携協定」に基づき、大学の専門性を活かした子どもの発達支援に関する連携事業を実施します。

- ◇市が実施する療育教室への助言
- ◇保育士・保健師等研修会の実施
- 【担当課】子育て応援課



5歳児健康診査及びフォローアップ体制の充実 拡

(母子健康診査事業、療育支援事業)

【予算額】 496万円 (予算書P.123、111)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

子どもの個々の発達の特性を早期に把握し、必要な支援につなげていくため、園巡回方式による5歳児健康診査を実施します。また、健診後の相談支援の充実を図るために、園巡回訪問等に心理士が加わる回数を増やします。

- ◇心理士による訪問回数：20回→40回
- 【担当課】子育て応援課

病児・病後児保育広域連携事業 新

(病児・病後児保育事業)

【予算額】 22万円 (予算書P.111)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

新潟市を中心とする11市町村と病児・病後児保育の連携を図り、広域で利用できる環境を整備します。

- ◇連携市町村：新潟市、新発田市、阿賀野市、胎内市、五泉市、加茂市、三条市、聖籠町、阿賀町、田上町、弥彦村
- 【担当課】こども未来課

医療的ケア児等レスパイト（一時預かり）事業 新

【37ページ参照】

【担当課】子育て応援課

こどもインフルエンザ予防接種費助成事業 拡 (感染症予防事業)

【予算額】 1,840万円 (予算書P.123)

インフルエンザ予防接種費の助成費用を一部拡充し、発症や重症化の予防につなげるとともに子育て世帯の経済的な負担軽減を図ります。

- ◇対象：生後6か月～高校3年生まで

- ◇助成内容（1回あたり）：

皮下ワクチン 2,000円

経鼻ワクチン 2,000円→4,000円

【担当課】健康づくり課

RSウイルス予防接種事業 新

(感染症予防事業)

【35ページ参照】

【担当課】健康づくり課



- ① 県や医師会、大学等と協力しながら保健医療体制を強化するとともに、医師・看護職員の確保・定着に取り組みます。
- ② ワクチン接種の制度改正に対応するとともに、独自助成を継続し、重症化予防と経済的負担の軽減に努めます。

保健医療体制の強化

転ばぬ先の医療推進プロジェクト促進事業 新

【予算額】 156万円 (予算書P.129)

燕市医師会や新潟大学、県立吉田病院等と連携し、オンライン診療をトライアル実施します。また、健康・医療相談窓口を燕市医師会に委託し開設します。

- ◇自宅や施設と市内医療機関をつなぐ在宅型のほか、県立吉田病院と新潟大学病院をつなぐ拠点型のオンライン診療を実施
- ◇市民の健康・医療に関する悩みについて、地域包括支援センターが医師に情報共有し、医師から助言・指導を受ける場を開設

【担当課】 健康づくり課

医師養成修学資金貸付制度負担金 拡

【予算額】 726万円 (予算書P.129)

内科、外科、総合診療科または小児科の専門医を確保するため、県等と連携して医師養成修学資金の貸付けを行います。

- ◇新潟県地域枠：獨協医科大学(2人→3人)
- ◇勤務開始：早ければ令和12年から
- ◇勤務期間：卒業後の9年間のうち、5年間は県央基幹病院及び県立吉田病院に勤務

【担当課】 健康づくり課

重症化予防と経済的負担の軽減

帯状疱疹予防接種費助成事業 (感染症予防事業)

【予算額】 1,528万円 (予算書P.123)

帯状疱疹ワクチンの任意接種費用を助成し、発症予防や重症化予防につなげるとともに、経済的負担の軽減を図ります。

- ◇対象：年齢は、いずれも接種日時点の年齢
 ①50歳以上で、定期接種に該当しない方
 ②18~49歳で、帯状疱疹に罹患するリスクが高く、医師が接種を必要と認める方
- ◇自己負担額：接種費の1/2

【担当課】 健康づくり課

RSウイルス予防接種事業 新 (感染症予防事業)

【予算額】 1,362万円 (予算書P.121)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

国によるRSウイルス予防接種の定期接種化に対応し、新生児及び乳児のRSウイルスの発症や重症化を予防します。

- ◇対象：妊娠28週~36週の妊婦
- ◇自己負担額：なし

【担当課】 健康づくり課

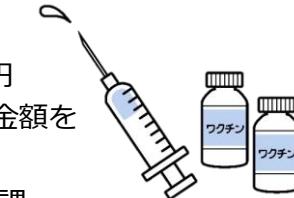
高齢者向け高用量インフルエンザワクチンの導入 新 (感染症予防事業)

【予算額】 1,481万円 (予算書P.121)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

従来のワクチンの4倍の抗原を含むワクチンを接種できる体制を整備し、発症予防や重症化予防につなげます。

- ◇対象：75歳以上
- ◇自己負担額：4,038円
(※) 県医師会の示す金額を基に最終決定
- ◇担当課：健康づくり課



看護職員の確保・定着

看護職員修学資金貸付事業

【予算額】 1,920万円 (予算書P.129)

県央地域で看護師を目指す学生に対して、修学資金の貸付けを行います。

- ◇貸与月額：5万円・4万円・3万円から選択
- ◇貸与期間：在学する学校や養成所の正規の修学期間（最大5年間）
- ◇返還免除：卒業後、直ちに県央基幹病院または県立吉田病院に5年間継続して勤務した場合に返還を免除

【担当課】 健康づくり課

- ① 住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、医療機関等と連携し、健康課題に応じた介護予防に取り組みます。
- ② 経済的負担の軽減を通じて、介護事業を支える人材の確保や定着に努めます。
- ③ 介護サービスの充実と給付の適正化を図るほか、長年地域に貢献されてきた方々の長寿をお祝いします。

介護予防等の推進

県立吉田病院と連携した訪問型短期集中介護予防サービス実施事業 新
(介護予防・生活支援サービス事業費)
【予算額】101万円 (予算書P.307)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

県立吉田病院と連携し、医学的知見から訪問介護予防サービスの対象者把握を行い、リハビリ専門職等による心身機能等の維持・向上に向けた訪問支援を行います。

【担当課】長寿福祉課



人生100年時代の健康サポート事業 拡
【予算額】194万円 (予算書P.129)

医療・健診・介護データより抽出された高齢者の健康課題に対し、医療専門職の訪問指導による重症化予防や、通いの場での健康教育による介護予防等に取り組みます。

◇生活習慣病やフレイル予防の普及啓発
 ◇高血圧のリスクがある方への医療専門職の訪問

【担当課】健康づくり課

介護人材の確保・定着

介護人材奨学金返還補助金

【予算額】192万円 (予算書P.301)

介護人材の確保・定着を図るため、市内介護事業所で新たに働く人を対象に、当該事業所に勤務している間、奨学金の返還相当額を補助します。

- ◇補助率：10/10
- ◇補助額：月額2万円（年間24万円）
- ◇補助期間：最大10年間

【担当課】長寿福祉課

サービスの充実と給付の適正化

第10期介護保険事業計画等策定事業 臨
(一般管理費)

【予算額】329万円(予算書P.299)

高齢者福祉施策及び介護保険事業を推進するため、「高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」に、国の法施行により策定が努力義務化された「認知症施策推進計画」を包含し策定します。

【担当課】長寿福祉課



長寿のお祝い

敬老事業 拡 **20th**

【予算額】884万円 (予算書P.93)

長年地域に貢献されてきた方々の人生の節目をお祝いします。

★感謝を伝える80歳のつどい

新たに、80歳の市民を対象にした「人生の節目をお祝いする会」を開催します。当日は、合併20周年の映像を上映します。

- ◇実施方法：
市内全域を対象に1会場で開催
(吉田・分水地区に送迎バスを運行予定)

★長寿者祝い品贈呈事業

記念品の贈呈等により長寿をお祝いします。

- ◇米寿祝い品の贈呈：
88歳の方を対象に、カタログギフトを贈呈
- ◇100歳祝い品の贈呈：
100歳の方を対象に、祝状、カタログギフトを贈呈するほか、希望者に対し、市長表敬訪問を実施

【担当課】長寿福祉課



- ① 障がいのある人の受け入れや、家族の負担軽減に向け、地域全体で支える体制づくりや各種サービスの充実に努めます。
- ② 障がいの有無に関わらず自分らしく自立した生活を営めるよう、社会参加の促進や生活基盤の強化に取り組みます。

地域全体で支える体制の整備

医療的ケア児等レスパイト（一時預かり）事業 新 【予算額】437万円（予算書P.113）

国の医療的ケア児等総合支援事業を利用した県内初の取組として、市内事業所との連携により医療的ケア児や重症心身障がい児を一時的に預かる環境を整備することで、家族の就労等の支援や休息をサポートし、負担軽減を図ります。

また、一時預かりを実施する事業所に対し、備品等の環境整備に係る費用を補助します。

★一時預かり

◇対象：市内在住の医療的ケア児等

◇費用：本人負担なし

◇利用限度：1人あたり年間86時間

★環境整備補助金

◇対象経費：たん吸引機、ネブライザー、点滴用スタンド、介護ベッド等

◇補助割合：1/2

◇補助上限額：50万円

【担当課】子育て応援課



障がい者地域生活支援拠点等運営事業 拡 (地域生活支援事業)

【予算額】8,578万円（予算書P.95）

※関連する予算額のみを抜き出しています。

障がいのある人の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、受入体制等の充実や自立を促進する体制を強化します。

◇相談支援専門員の増員

◇民間賃貸住宅での一人暮らし体験の実施

【担当課】社会福祉課

社会参加の促進と生活基盤の強化

つながる工賃アップ事業 新 (地域生活支援事業)

【予算額】501万円（予算書P.95）

※関連する予算額のみを抜き出しています。

障がい福祉サービス事業所等の工賃アップに向けた支援を行います。

◇障がい福祉サービス事業所等と企業の

マッチングを行うクラウドシステムを構築

◇障がい福祉サービス事業所等へ商品開発や販路開拓の先進事例等を紹介

◇作業の発注などを通じて障がい福祉分野に貢献する企業の認定制度を創設

【担当課】社会福祉課

ニーズに応じたサービスの充実

障がい者基本計画等策定事業 臨 (身体障がい者福祉事業)

【予算額】395万円（予算書P.91）

障がい福祉に係る施策を推進するため、「障がい者基本計画・第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画」を策定します。

【担当課】社会福祉課、子育て応援課

障がい者タクシー利用料及び自動車燃料費助成事業 拡 (身体障がい者福祉事業)

【予算額】1,763万円（予算書P.91）

障がいのある人の社会参加の促進や経済的負担の軽減のため、タクシー利用料金及び自家用車の燃料費の一部を助成します。

◇人工透析の通院者へ500円券を30枚交付
【担当課】社会福祉課

身体障がい者（児）日常生活用具給付事業 拡 (身体障がい者福祉事業)

【予算額】1,943万円（予算書P.91）

障がいの種類により、日常生活用具を給付します。

◇排泄管理支援用具（蓄便袋、蓄尿袋、紙おむつ等）の基準額を引き上げ
【担当課】社会福祉課

- ① U・Iターン希望者のニーズを捉えた移住支援の充実を図ります。
- ② 移住者に寄り添った情報提供を充実させるとともに、定住につながるよう住宅取得を支援します。
- ③ 県外在住の燕市出身の若者との交流や情報発信を継続し、将来的なUターンや交流・応援(燕)人口の増加につなげます。

移住・定住の促進

つばめ移住・定住促進事業 (拡)

【予算額】 4,588万円 (予算書P.67)

移住・定住を促進するため、国・県の財源を活用しながら、転入者向けの各種補助事業を実施するほか、ニーズに応じた情報発信や移住者向けの交流会等を実施します。

★地方就職支援金

東京圏内在住の学生が県内企業への就職に要した費用を補助します。

◇対象者：東京圏内の大学に通う東京圏内在住の学生（県内での就職に伴い本市に移住する方に限る）

◇対象経費：就職活動を行った際の交通費及び就職による県内への移転費

◇補助額：交通費の1/2（上限1万円）及び移転費（上限81,500円）

★移住者住宅費補助金

◇対象者：市内企業に就職する市外からの移住者

◇補助額：家賃の1/2（1か月あたりの上限15,000円、24か月まで）

★移住・就業等支援事業補助金

◇補助額：

東京23区からの就業者等

単身世帯60万円／2人以上の世帯100万円
(18歳未満一人につき100万円加算)

★子育て世帯移住支援金

◇補助額：

東京圏（東京23区を除く）からの就業者等
子育て世帯50万円

★移住者交流会

移住者同士のつながりづくりや生活に役立つ
さまざまな情報交換ができる場を提供します。

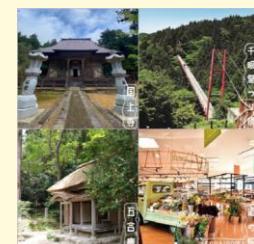
★移住情報の発信強化

◇SNSによる燕市の魅力発信

◇移住フェアへの出展

（移住相談ブース・協力隊募集ブース）

【担当課】地域振興課



結婚新生活支援金

(男女の出会いサポート事業)

【予算額】 2,417万円 (予算書P.69)

新婚世帯の住宅取得や賃借、リフォーム、引越に係る費用を支援します。

◇対象者：婚姻日における年齢が39歳以下で、世帯年収が500万円未満等

◇補助額：世帯あたり最大60万円

【担当課】地域振興課



移住家族支援事業

【予算額】 3,500万円 (予算書P.173)

市外からの移住者に住宅取得費の一部を補助し、本市への移住を促進します。

◇上限額：110万円（基本額10万円 + 加算額）

◇加算項目：居住誘導区域内定住、中古住宅取得、新婚世帯、子育て世帯など

【担当課】都市計画課

つばめ若者会議事業

【43ページ参照】

【担当課】地域振興課



- ① 受診しやすい体制づくりや患者の経済的・精神的負担の軽減に努めるとともに、疾病等の予防指導の充実を図ります。
- ② 自分らしい健康づくりに取り組めるよう「健康づくりマイストーリー運動」を推進します。

検診体制の整備・充実

胃がん内視鏡検診 拡 (健(検)診事業) 【予算額】2,561万円 (予算書P.125)

※関連する予算額のみを抜き出しています。



胃がん内視鏡検診がスムーズに受診できるよう実施機関を拡大します。

- ◇対象：50歳から68歳の偶数年齢の市民
- ◇受診機会：2年に1回
- ◇実施機関：新潟県立吉田病院、市内医療機関
- ◇費用：1,000円
- 【担当課】健康づくり課

女性セット検診事業 (健(検)診事業)

【予算額】445万円 (予算書P.125)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

女性特有のがん等を検査項目にした1日で受診できる女性限定のセット健診を実施します。

★トータルヘルスケア健診

- ◇検査項目：乳がん等の最大7項目
- ◇対象（費用）：40、41歳（最大4,100円）
- ★プレコンセプションケア健診
- ◇検査項目：子宮頸がん検診等の最大3項目
- ◇対象（費用）：20～30歳（最大2,600円）
- 【担当課】健康づくり課

特定健康診査事業 拡

(特定健康診査等事業費)

【予算額】3,478万円 (予算書P.261)

生活習慣病の早期発見と予防、健康寿命の延伸に向け、従来の集団健診に加え、市内医療機関での個別健診を導入します。

- ◇対象：40歳から74歳の国民健康保険加入者
- ◇会場：燕中央公民館、吉田産業会館、分水公民館、スポーツランド燕、市内医療機関
- 【担当課】保険年金課

経済的・精神的負担の軽減

医療用補正具購入費助成事業 拡

【予算額】189万円 (予算書P.129)

対象をがん以外の患者にも拡大し、ウィッグ等の医療用補正具の購入費用を補助します。

- ◇対象：がんと診断され治療を受けている
または受けた方、
がん以外の傷病により脱毛を伴う方
- ◇補助率（上限）：10/10（3万円）
※2回目は1/2（1万5,000円）
- ◇対象補正具：医療用ウィッグ、乳房補正具
- ◇補助回数：補正具（乳房は左右）ごとに
最大2回
- 【担当課】健康づくり課

健康的な生活習慣の普及啓発

歯周疾患検診事業 (健(検)診事業)

【予算額】312万円 (予算書P.125)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

生涯を通じた口腔の健康保持につなげるため、ワンコイン歯科検診を実施します。

- ◇対象：20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳



- ◇費用：500円

- 【担当課】健康づくり課

自分らしい健康づくりの推進

つばめ元気かがやきポイント事業 拡

(健康づくりマイストーリー運動、保健事業費、介護予防把握事業費、
介護予防普及啓発事業費)

【予算額】205万円

(予算書P.127、261、307)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

報告窓口の増設やポイント対象事業を拡大し、利便性の向上を通じて、気軽に始め、継続できる健康づくりを推進します。

- 【担当課】健康づくり課、長寿福祉課、
保険年金課

2-(1)-② スポーツの推進

-40-

- ① より多くの市民がスポーツに親しめるよう、施設整備をはじめとしたスポーツ環境の充実に努めます。
- ② 次代を担う子どもたちへの学び・体験の機会の提供に努め、スポーツ意欲・競技力の向上につなげます。

スポーツに親しむ環境・制度整備

サッカー場整備事業 拡

【予算額】6億3,660万円(予算書P.223)

【事業期間】令和6~8年度

利用者が雨天時や夜間でも安全・安心に活動できるよう、吉田ふれあい広場(多目的広場)に夜間照明を備えた多目的人工芝サッカーコートを整備します。

【担当課】社会教育課



B&G海洋センター移転改築事業 臨

【R8予算額】8億6,840万円

※うちR7繰越予算額：6億6,881万円

【事業期間】令和5~8年度(予算書P.223)

施設の老朽化や利用環境の改善により、市民の健康増進を図るほか、小学校のプール授業の受け皿として活用するため、隣接地に移転・改築を行います。オープン時には、著名なゲストを招いた水泳競技のオープニングセレモニーを行い、新しい施設の魅力を広く発信します。

◇オープン：令和8年7月下旬頃（予定）

【担当課】社会教育課



燕市全国大会出場選手等激励金 新 (社会教育総務費)

【予算額】450万円 (予算書P.203)

これまでスポーツ大会に限定していた補助対象を、文化系の全国大会まで拡充し、スポーツ・文化活動に取り組む市民への支援を強化します。また、既存事業を統合することで、申請手続きを簡素化し、申請者の利便性向上を図ります。

◇対象：予選を経て全国大会に出場する選手等

【担当課】社会教育課

地域に根ざしたスポーツ活動

燕さくらマラソン大会 (生涯スポーツ振興費)

【予算額】2,263万円 (予算書P.223)

ハーフマラソンからウォーキングまで5種目を用意し、幅広い年代が参加できるマラソン大会を開催します。分水さくら公園を拠点に、美しい桜並木を駆け抜けるコースを設定し、地域の魅力を発信します。

◇開催日：4月11日（土）

◇招待選手：笹川 洋成 選手

(燕市出身 青山学院大学)

【担当課】社会教育課



スポーツ意欲・競技力の向上

つばめスポーツキッズフェスタ (生涯スポーツ振興費)

【予算額】50万円 (予算書P.223)

子どもたちが、身近な種目から、ニュースポーツやパラスポーツに触れることで、スポーツを始めるきっかけとなるよう、関係団体の協力のもと、体験型イベントを開催します。

【担当課】社会教育課



ゆめみらいスポーツ教室

【予算額】500万円 (予算書P.223)

子どもたちから夢や希望を持ってスポーツに取り組んでもらうため、トップアスリートを招いてスポーツ教室を開催します。

◇開催種目：3種目程度

【担当課】社会教育課



2-(1)-③ 生涯学習・文化活動の充実

-41-

- ① 社会教育関係団体等の発表機会の創出や老朽化した公民館施設の改修により、生涯学習環境の充実を図ります。
- ② 文化活動の活性化や魅力発信に努めるとともに、文化財等の保存・利活用を推進します。

生涯学習活動の推進

公民館活動の祭典 新 20th

(社会教育総務費)

【予算額】3万円 (予算書P.203)

※関連する予算額のみを抜き出しています

公民館などを活動拠点とする社会教育関係団体等の活性化を図るため、団体活動の作品展示・販売、活動体験などができるイベントを新たに開催します。

◇内容：作品展示・販売、活動体験 等

【担当課】社会教育課

公民館施設の改修 臨

(粟生津体育文化センター改修事業、
小池公民館改修事業)

【予算額】2億3,934万円 (予算書P.209)

将来にわたり施設を安全・安心に利用していただけるよう、老朽化した施設の長寿命化を図る設計及び改修工事を実施します。

◇粟生津体育文化センター：改修工事

◇小池公民館：設計

【担当課】社会教育課



文化活動の活性化

文化会館自主事業 拡

【予算額】2,714万円 (予算書P.213)

こどもから高齢者まで幅広い世代が楽しめる舞台公演を提供し、地域の文化振興を推進します。また、合併20周年を記念した特別なプログラムを取り入れ、より多くの方々に文化活動の楽しさを届けるとともに、豊かな地域社会づくりを推進します。

◇市内小学校合同芸術鑑賞会（6月予定）

◇ファミリー向け公演会（7月予定）

◇つばめお笑いフェス（6～8月予定） 20th

◇ものまねコンサート（9月予定） 20th

◇自衛隊音楽コンサート（11～12月予定） 20th

◇香西かおり歌謡ショー（2月予定） ほか

【担当課】社会教育課



文化財の保存・利活用推進

新分水良寛史料館基本構想策定事業 新

【予算額】990万円 (予算書P.215)

老朽化が進む現施設に代わり、十分な収蔵スペースを備え、良寛ファンをはじめ市内外の幅広い世代が足を運べる新たな史料館を道の駅SORAIRO国上の隣接地に整備するため、基本構想を策定します。

◇策定内容：コンセプト・機能・施設規模 等

【担当課】社会教育課

石港遺跡・浦田遺跡発掘調査事業

(埋蔵文化財事業)

【R7繰越予算額】4億817万円

【事業期間】令和4～12年度

地域の歴史を解明する貴重な文化資源である石港遺跡・浦田遺跡の計画的な発掘調査を進めます。

◇石港遺跡：出土遺物や調査図面の整理作業

◇浦田遺跡：現地発掘調査

【担当課】社会教育課



2-(2)-① 地域福祉の推進

-42-

- ① こどもや女性、高齢者等を取り巻く社会問題に対応するため、関係機関と連携しながら支援につなげます。
- ② 被保護者の状況に応じたきめ細かな相談・支援体制を構築するため、生活保護業務のデジタル化を推進します。
- ③ 成年後見制度を必要とする人が適切に制度を利用することができるよう、権利擁護支援を推進します。

こどもを取り巻く問題への対応

子どもの生活・学習支援事業 拡

【予算額】 642万円 (予算書P.113)

国の制度を活用し、ひとり親家庭等、支援が必要な子どもの生活環境や学習環境の整備に取り組みます。

★学習支援業務委託事業

こども食堂等に委託して学習支援や食事の提供等を実施します。

◇委託費：上限200万円

★模擬試験受験料補助金

児童扶養手当受給者世帯等の子どもの受験に向けた模擬試験の受験費用を補助します。

◇中学3年生：上限6,000円/回（年2回まで）

◇高校3年生等：上限8,000円/回（年2回まで）

【担当課】子育て応援課

子どもの居場所づくり支援事業

【予算額】 300万円 (予算書P.113)

こどもが安心して過ごせる居場所を提供するこども食堂等の運営を支援します。

◇補助額：上限20万円

【担当課】子育て応援課



子育て世帯訪問支援事業

【予算額】 552万円 (予算書P. 113)

国の制度を活用し、家事や育児等に不安を抱える子育て家庭、支援の必要性が高い妊産婦等がいる家庭に支援員が訪問し、不安や悩みの相談を受けるとともに、家事や育児等の支援を行います。

- ◇家事支援(食事準備、洗濯、掃除、買い物の代行等)
- ◇育児支援(育児サポート、外出時の補助等)

【担当課】子育て応援課



女性問題に対する相談体制の強化

困難な問題を抱える女性の相談窓口 拡

(子育て応援一般経費)

【予算額】 362万円 (予算書P.99)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

相談業務の増加等に対応するため、正職員に加え、新たに会計年度任用職員を相談窓口に1名配置し、女性問題に対する相談体制を強化します。

【担当課】子育て応援課

生活保護業務の効率化

生活保護業務のDX 新

DX

(生活保護事業)

【予算額】 52万円 (予算書P.115)

生活保護新規申請者等の預貯金照会業務をオンライン化し、調査期間の短縮と業務負担の軽減を図ります。

【担当課】社会福祉課



成年後見制度の利用促進

成年後見制度利用促進中核機関等運営事業 (地域生活支援事業)

【予算額】 1,055万円 (予算書P.97)

支援を必要とする人が、必要なときに成年後見制度を利用できるよう、地域連携ネットワークを担う中核機関を運営し、権利擁護支援を推進します。

◇担い手の養成や支援

◇成年後見制度等の普及・啓発

【担当課】社会福祉課、長寿福祉課



- ① 地域住民が安全に安心して暮らしていくよう、自治会や地域コミュニティの維持・継続を支援します。
- ② 若者の自主的なまちづくり活動を推進するため、積極的な情報発信や多様な主体との連携を支援します。

持続可能な自治会運営の支援

自治会運営支援事業 **拡** (町内関係費) 【予算額】145万円 (予算書P.57)

自治会活動の活性化と多様化する自治会課題の解消に向けた支援を行います。

★自治会出張相談の実施

希望する自治会に対して課題を把握し、支援制度の活用等を促すため、職員の出張相談を実施します。

★自治会アドバイザー派遣事業

自治会の課題解決のため、専門アドバイザーが課題整理から解決までを支援するとともに、他自治会へ解決手法の横展開を図ります。

◇単発派遣型の創設

★LINE活用セミナー

自治会の回覧等電子化に向け、自治会のLINE公式アカウント開設やメッセージ配信等のスキルを習得するセミナーを開催します。また、セミナー受講後、希望する自治会に対して、運用に向けたフォローアップを実施します。

★自治会講演会

自治会役員等を対象に、自治会活性化に関する先進事例等を紹介する講演会を実施します。

【担当課】総務課

市民活動団体への支援

まちづくり協議会支援事業 **拡** 【予算額】1,273万円 (予算書P.65)

まちづくり協議会の運営経費に対する財政支援や、活動相談等の人的支援を通して、地域コミュニティの活性化を促進します。

◇運営補助 :

均等配分28万円 + 世帯加算(世帯数×60円)

◇事業補助 :

均等配分28万円 + 人口加算(人口数×50円)

◇事業実施に必要となる食糧費への補助 :

上限3万円→補助上限額の15%以内へ引き上げ

【担当課】地域振興課

協働のまちづくり推進事業 **拡** 【予算額】265万円 (予算書P.67)

自治会やまちづくり協議会、市民活動団体が行う公益的な活動に対して「イキイキまちづくり事業助成金」を交付します。

◇補助率（上限）：

まちづくりライトコース 10/10(上限10万円)

まちづくりプラスコース 4/5 (上限30万円)

【担当課】地域振興課



若者活動の支援

つばめ若者会議事業 【予算額】230万円 (予算書P.67)

「燕市役所まちあそび部」や「燕ジョイ活動部」をはじめとする若者の主体的なまちづくり活動をサポートし、積極的に情報を発信します。また、県外在住の燕市出身の若者による交流組織「つばめいと」の運営を行い、交流会の開催などを通じて、ふるさと燕とのつながりを創出し、若者の将来的なUターンを支援します。

- ◇まちの人とまちの資源を活用した事業の実施
- ◇他自治体が実施する若者活動への参加
- ◇中学生への「まちあそび体験」の呼びかけ
- ◇交流会の開催（東京会場、燕会場）

【担当課】地域振興課



2-(3)-② 誰もが活躍しやすい環境づくり、③人権尊重・多文化共生のまちづくり -44-

- ① 仕事と子育ての両立など、ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、誰もが活躍できる職場環境づくりを推進します。
- ② 男女共同参画社会の実現に向けて、家族や職場、地域等と協力して取り組む活動や共育で事例の横展開を図ります。
- ③ 市民一人ひとりが多様性を認め合い、人権を尊重できる社会の実現を目指します。

仕事と子育ての両立支援

つばめ子育て応援企業サポート事業 拡 【予算額】1,443万円 (予算書P.69)

市内企業における、仕事と子育ての両立に向けた職場環境づくりを支援します。

★みんなが活躍できる職場環境づくり推進補助金

- ◇補助対象：働きやすさ向上のための研修 等
- ◇補助率（上限）：

1/2（上限10万円）→2/3（上限20万円）

※つばめ子育て応援企業未取得の企業への支援

★男性の育児休業取得促進奨励金

- ◇男性従業員支給額：5万円～10万円
事業主支給額：15万円～20万円

★育児短時間勤務給付金

- ◇対象：2歳～3歳未満の子を養育するため
に時短勤務を行う子育て応援企業の従業員
- ◇給付額：1万円×育児短時間勤務した月数
- 【担当課】地域振興課



男女共同参画の推進

男女共同参画推進事業

【予算額】210万円 (予算書P.65)

男女が対等な関係で個性と能力を発揮できる社会の実現に向け、啓発事業等を行います。

★男女共同参画講座

男女共同参画をテーマに講座を開催します。

★ダイバーシティ推進フォーラム

女性をはじめとした多様な人材の活躍推進やワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、事業者の理解促進を図るためのフォーラムを開催します。

★つば×ともモデルエピソードアワード

仕事と家庭の両立を実現している各家庭や職場、地域の工夫や取組を募集し、横展開を図ることで、働きやすく、子育てしやすい環境の醸成を図ります。

- ◇優良モデル事例の選出、表彰

- ◇事例を広く周知

【担当課】地域振興課



人権教育・啓発の推進

人権教育・啓発推進事業

【予算額】89万円 (予算書P.61)

「第2次燕市人権教育・啓発推進計画」に基づき、差別や偏見のない社会の実現に向け、拉致問題などさまざまな人権課題に関する人権教育・啓発を行います。

- ◇人権講演会、人権ミニパネル展の開催
- 【担当課】市民課

多文化共生のまちづくり

多文化共生事業 拡

【予算額】613万円 (予算書P.71)

外国人同士や、外国人と日本人とが相互理解を深めるため、交流会や講座を開催するほか、「やさしい日本語」の活用に取り組みます。

- ◇つばめ多文化交流会の開催
- ◇外国人向けの日本語講座の開催
(燕市国際交流協会が実施)
- ◇職員向け「やさしい日本語」研修の実施
- ◇「やさしい日本語」を使用した生活ガイドブックの作成
- 【担当課】地域振興課

- ① 燕市観光振興プランに基づき、産業観光の受入体制等を強化することで地域経済の活性化を図ります。
- ② 3地区の伝統ある夏まつりの運営を支援し、合併20周年を祝う催しを企画することで地域の賑わいを創出します。

観光消費の拡大に向けた取組

燕ソウルフード

観光プロモーション事業 拡



【予算額】143万円 (予算書P.161)

魅力的なお土産品を増やすため、セミナーを拡充するとともに、お土産品の開発等に関する補助制度の創設等を行います。

★おみやげ食品開発改良支援セミナー

開催回数：1回 → 全3回コース

★おみやげ食品開発改良支援補助金

◇補助率：1/2 ◇上限額：20万円

◇対象経費：商品開発コンサルタント費用等

【担当課】観光振興課

産業観光受入体制整備事業 拡

【予算額】255万円 (予算書P.159)

ものづくりを活かした観光誘客の促進を目指し、工場見学の受入体制を整備する経費に対して上限額を拡充して補助します。



★受入体制整備補助金

◇ソフト経費 上限額：20万円 → 25万円

◇ハード経費 上限額：100万円

★受入協力補助金

◇ 21人以上の団体等：4千円 → 5千円／1回)

◇ 20人以下の団体等：3千円 → 4千円／1回)

【担当課】観光振興課

国内外の観光誘客促進

インバウンド対応に関する調査事業 新

(観光誘客促進事業)

【予算額】13万円 (予算書P.161)

※関連する予算額のみを抜き出しています。



インバウンド受入れ環境の整備を進めるため、産業団体の会員企業や飲食店等を対象にした実態調査を実施します。

【担当課】観光振興課

佐渡・八十里越等

誘客プロモーション事業 拡

(観光誘客促進事業)

【予算額】107万円 (予算書P.161)

※関連する予算額のみを抜き出しています。



佐渡を意識した佐渡汽船ターミナル等におけるPRとともに、八十里越開通を見据えた県央自治体等と連携した取組により、観光誘客につなげます。

【担当課】観光振興課

着地型観光の推進

着地型観光商品造成事業 拡

(観光推進費)

【予算額】14万円 (予算書P.157)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

さらなる観光需要獲得を目指し、燕市観光協会が実施する旅行プラン（工場見学を組み込んだ産業観光ツアーなど）の造成を支援します。



【担当課】観光振興課

地域の賑わいの創出

夏まつり運営事業 拡

20th

(観光推進費)

【予算額】1,736万円 (予算書P.157)

合併20周年を記念する特別な催しを通じて3地区の夏まつりを盛り上げます。フィナーレを飾るのは「夜空をみんなで彩ろう」をテーマにした参加型イベントで、こどもたちが描いた絵を花火として市役所庁舎壁面に映し出します。

【担当課】観光振興課



3-(2)-① 広域連携・都市交流の推進、②「ふるさと燕」のファン拡大 -46-

- ① 本市の魅力や特色ある施策等を戦略的にプロモーションし、交流・応援（燕）人口の拡大を図ります。
- ② 県内外の自治体と交流・連携し、相互の地域活性化や補完機能の強化につなげます。

ふるさと納税の推進

ふるさと燕応援事業

【予算額】30億円（予算書P.59）

本市のファン拡大を目的に、魅力ある本市の地場産品をふるさと納税のお礼の品として寄附者の方に贈呈します。また、寄附受付サイトやSNS等を活用し、戦略的なPRを行います。

◇お礼の品の拡充

◇SNS広告等による効果的なプロモーション

【担当課】総務課

都市交流の推進

都市交流連携事業

【予算額】11万円（予算書P.67）

県内外の交流都市間で、相互にイベント等へ参加し、観光PRやスポーツをはじめとした交流を促進することで、互いの地域資源を生かした地域活性化を図ります。

【担当課】地域振興課

他自治体との若者交流事業

（つばめ若者会議事業）

【再掲43ページ】

【担当課】地域振興課

燕市のファンづくり

シティプロモーション事業 拡

【予算額】1,474万円（予算書P.69）

各メディアやSNS等を活用しながら、「ものづくり」「子育て環境」「人」「自然」「食」といった本市の魅力を発信し、さらなるファン拡大を図ります。

★地域おこし協力隊による情報発信

地域おこし協力隊を新たに採用し、移住者の目線から地域資源であるヒト・モノ・コトに関する情報を収集し、SNSなど各種媒体を通じて発信します。



★ものづくりサイトのリニューアル

本市のものづくりを紹介する「ものづくりサイト」のデザイン・レイアウトを一新してリニューアルし、本市の技術力や魅力を広くPRします。

★プロモーションムービーの作成

本市の魅力や、市の取組に関するムービーを新たに作成することで、観光誘客や移住促進につなげるとともに、シビックプライドの醸成を促進するためのツールとして使用します。

【担当課】広報秘書課

応援（燕）人口拡大創出事業

【予算額】2,490万円（予算書P.69）

東京ヤクルトスワローズやアルビレックスと連携した各種事業の開催及びPRにより、新たな燕市ファンの獲得を目指します。また、市外県外の方が、本市とさまざまな関わりを持てる事業やプログラムを実施します。

★東京ヤクルトスワローズとの交流・連携事業

◇燕市DAY、選手トークショーの開催

◇田植え・稲刈りイベントの開催

◇ファン感謝DAYへの出展

★アルビレックスとの連携

（サッカー・バスケットボール・野球）

◇ブース出展による情報発信等

★交流体験プログラムの実施

◇地域おこし協力隊による交流の場、活動の場の創出

【担当課】地域振興課



- ① 災害時の救援体制を強化するとともに、避難状況を迅速に把握することで的確な支援につなげます。
- ② 住宅の耐震対策を促進し、地震に強い住まいづくりを支援します。
- ③ 通学路の防犯カメラや保育園のドアロック等を整備し、園児及び児童をはじめ地域の安全確保を図ります。

防災力の強化

災害時相互支援体制構築事業

【予算額】301万円 (予算書P.181)

災害時の救援体制を強化するため、B&G財団の支援金を活用し、消防団員等を対象とした重機操作などの研修を実施します。また、避難所用に簡易ベッドやブランケット等の備品を整備するとともに、避難所運営研修を実施し、円滑な支援体制を構築することで、災害への備えを向上させます。

【担当課】防災課



避難者支援システム運用事業 新 DX (災害対策事業)

【予算額】17万円 (予算書P.179)

新潟県や県内市町村と連携し、避難者の受付や集計を迅速化するとともに、市と県が避難所状況を把握することができるアプリの運用を開始します。市の総合防災訓練で実際に活用することで、災害時に備えます。



地震に強い住まいづくり支援事業 拡

(建築総務費)

【予算額】2,960万円 (予算書P.173)

地震時に倒壊等の危険性の高い木造住宅の耐震性向上を図り、地震に強いまちづくりを推進するため、既存の耐震対策制度における耐震改修（部分耐震改修含む）と耐震建替の各補助金上限額の引上げを行います。

◇耐震診断：自己負担なし

◇耐震改修：補助率4/5

上限120万円→上限140万円 ※

◇耐震建替：補助率4/5

上限80万円→上限110万円 ※

子育て世帯加算30万円

◇耐震除却：補助率23% 上限50万円

◇部分耐震改修：補助率4/5

上限60万円→上限70万円

◇耐震シェルター等：補助率1/2 上限30万円

◇感震ブレーカー：補助率 4/5 上限 5万円

※ZEH住宅の場合は上限70万円、省エネ住宅の場合は上限30万円の加算あり

【担当課】営繕建築課

園児・児童等の安全確保

通学路等防犯カメラ設置事業 拡

(防犯事業費)

【予算額】2,806万円 (予算書P.61)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

こどもたちの見守りを強化するため、通学路等に設置する防犯カメラを増台します。

◇令和7年度：19台

→令和8年度：48台



【担当課】生活環境課

防犯カメラ設置補助事業(防犯事業費)

【予算額】112万円 (予算書P. 61)

犯罪を未然に防止し、地域の防犯力向上を図るため、防犯組合が防犯カメラを設置する費用を補助します。

◇県補助対象：補助率2/3 (上限8万円)

◇市単独補助：補助率1/2 (上限6万円)、

【担当課】生活環境課



玄関ドアロック・防犯カメラ導入事業 (保育園等ICT化推進事業) 新

【再掲33ページ】

① 産業部門、民生部門、公共部門におけるカーボンニュートラルの推進を図ります。

② 資源循環型社会の構築に向け、4R活動（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）を推進します。

脱炭素社会の推進

地域脱炭素移行・再エネ推進事業 拡

【予算額】7,637万円 (予算書P.133)

国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、カーボンニュートラル達成に向け設備投資にかかる経費を、上限を拡充して補助します。

★再エネ導入促進補助金

◇対象経費：太陽光パネル(補助額5万円/kw)、蓄電池(補助率1/3、性能に応じ価格要件有)

★省エネ設備導入促進補助金

◇対象経費：高効率空調機器及び高効率照明機器の導入経費(補助率1/2)

◇空調：上限100万円(床面積250m²未満)
上限200万円(床面積250m²以上)

◇照明：上限100万円(床面積1,000m²未満)
上限200万円(床面積1,000m²以上)

【担当課】生活環境課

脱炭素住宅推進事業（環境政策推進事業）

【予算額】120万円 (予算書P. 133)

新潟県版雪国型ZEH住宅の取得費を補助します。

◇対象経費：県の補助金交付を受ける雪国型ZEH住宅(太陽光発電システム必須)の取得費

◇補助額：上限30万円（県の補助金額の3/10）

【担当課】生活環境課

SDGs経営促進事業

【予算額】209万円 (予算書P.155)



カーボンニュートラル推進のため、市内企業の脱炭素経営の取組を支援します。

★SDGs経営(SBT認証取得等)促進事業補助金

◇対象経費：SBT認証取得やSDGs(脱炭素)に係る計画策定等にかかる費用

◇補助額：上限10万円(SBT認証取得は15万円)

★脱炭素経営促進セミナー

意識醸成のため、取組事例や重要性を伝えます。

【担当課】商工振興課

中小企業CO₂排出量可視化促進事業

【予算額】498万円 (予算書P.133)

CO₂排出量を把握するためのサービスを企業に無償提供し、脱炭素経営のを支援します。

【担当課】生活環境課、商工振興課

市営住宅LED化事業(市営住宅管理費) 新

【予算額】900万円 (予算書P.177)

【事業期間】令和8～11年度

※関連する予算額のみを抜き出しています。

市営住宅の照明器具をLED化し、住環境の向上と省エネ化を図ります。

◇令和8年度実施箇所：南吉田駅前団地

【担当課】営繕建築課

4 R活動の推進

子ども応援ECOプロジェクト事業 拡

(保育園運営費、地域子育て支援事業、子育て支援施設魅力向上事業)

【予算額】83万円 (予算書P.101、109、113)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

寄附いただいた空き缶や古着等の売却益を、市内保育園等の図書購入費のほか、玩具の購入に充てます。

◇カンカンBOOK・TOY事業

◇福服BOOK・TOY事業

◇MONO²リユース事業

★MONO²夢みらい事業の実施

リユース可能な雑貨等の売却益を、こどもたちの健やかな成長に役立てます。

【担当課】生活環境課、こども未来課



家庭用生ごみ処理器設置補助事業 (塵芥処理費)

【予算額】45万円 (予算書P.135)

家庭ごみの削減に向け、生ごみ処理器の購入費を補助します。

◇補助率：1/2

◇補助額：電動生ごみ処理機…上限3万円
コンポスト…上限3千円

【担当課】生活環境課

- ① 空き家の有効活用等により住環境を向上させることで、住み続けたいまちづくりに努めます。
- ② まちなかの賑わいづくりに民官一体で取り組むとともに、まちなか居住を推進します。

空き家の解消と有効活用

空き家解体・改修費助成金 (空き家等対策推進事業)

【予算額】1,110万円 (予算書P.173)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

空き家の適切な管理を進めるため、所有者に指導・勧告を行うほか、早期の対策を促すため、解体撤去費や改修費等を補助します。

◇補助率：対象経費の1/2～1/3

①特定空き家等解体撤去費助成金（上限30万円）

②管理不全空き家等

　　解体改修費助成金（上限50万円）

③家財道具等処分費助成金（上限10万円）

【担当課】都市計画課

空き家利活用支援・跡地活用促進補助金 (空き家等対策推進事業)

【予算額】700万円 (予算書P.173)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

取得後1年以内の空き家を利活用する場合の改修費や、空き家を解体し、周囲と一体活用する場合の解体費等を補助します。

◇補助率：対象経費の1/2

①空き家利活用支援補助金（上限50万円）

②空き家跡地活用促進補助金（上限50万円）

※要件に該当する場合加算あり

【担当課】都市計画課

まちなか居住の推進

定住家族支援事業

【予算額】750万円 (予算書P.173)

居住誘導区域である市街地中心部への定住促進を図るため、住宅取得費を補助します。

◇上限額：35万円(基本額10万円+加算額)

◇加算項目：

- ・土地を購入し建築、
中古住宅取得
- ・子育て世帯
- ・新婚世帯 等



【担当課】都市計画課

まちなかの賑わい創出

中心市街地再生モデル事業 拡

【予算額】5,000万円 (予算書P.173)

まちなかを活性化するため、令和7年度に採択した、吉田地区商店街の整備事業にかかる経費を補助し、民官連携して取組を推進します。

◇補助額：対象経費の1/2（上限5,000万円）

◇整備予定施設：カフェ・物販等の複合施設、

　　ゲストハウス等

【担当課】都市計画課

まちなかにぎわい創出補助事業 (小売商業活性化事業)

【予算額】160万円 (予算書P.153)

まちなかの賑わい創出のため、店舗の魅力発信や空き店舗を活用したイベント等、商店街エリアの活性化に資する取組にかかる経費を補助します。

◇補助額：上限40万円（対象経費の2/3）

【担当課】商工振興課

商店街店舗リノベーション促進事業 (小売商業活性化事業)

【予算額】600万円 (予算書P.153)

空き店舗等の利活用を促進するため、商業地域で新たに小売商業等を営む事業者を対象に、改装費用を補助します。

◇補助額：上限150万円（対象経費の1/2）

【担当課】商工振興課

4-(2)-② 道路・公園の整備【その1】

-50-

- ① 生活道路の改良や長寿命化に取り組むとともに、通行車両や歩行者の安全性や快適性を確保します。
- ② 道路の拡幅整備等により、快適な道路環境を維持します。

道路環境の整備

修繕料(道路維持費)等 拡

【予算額】10億2,519万円(予算書P.165、167、169)

老朽化した道路施設や消雪施設について、有利な起債を活用し、適正に維持管理を行います。

【担当課】土木課



(単位：万円)

	事業名	令和7年度事業費	令和8年度事業費	前年度比較
道路維持関連	道路維持費 (修繕料・道路維持修繕工事費・道路照明設置工事費・道路安全施設工事費※1)	22,121	24,300	2,179
	幹線道路環境整備事業	6,300	7,000	700
	道路改良事業(市道改良舗装工事費)	15,800	15,800	0
	下水路維持管理事業(修繕料、工事請負費)	970	905	▲65
	下水路整備事業(工事請負費)	9,600	10,600	1,000
	小計	54,791	58,605	3,814
除排雪関連	除排雪対策事業 (消雪パイプ維持管理業務委託料、修繕料)	16,565	20,124	3,559
	消雪施設整備事業(工事請負費※2)	14,000	23,790	9,790
	小計	30,565	43,914	13,349
合計		85,356	102,519	17,163

※1 道路交通法施行令の改正を見据えた道路の中央線の引き直しや新たに実施する通学路の外側線の引き直しを含む

※2 施設老朽化等による整備箇所の増加分を含む

灰方22号線道路改良事業 新

【予算額】1,700万円(予算書P.169)

【事業期間】令和8~11年度

学生の送迎時等の安全性向上のため、幅の狭い道路を拡幅します。

◇全体施工延長：329m

◇令和8年度実施内容：用地測量、設計



【担当課】土木課

道路冠水対策事業 臨 (道路改良事業)

【予算額】950万円(予算書P.167)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

記録的短時間大雨時の吉田日之出町及び吉田東栄町周辺道路における冠水対策のため、測量及び排水系統の確認を行い、雨水排除計画を作成します。

【担当課】土木課

4-(2)-② 道路・公園の整備【その2】 4-(2)-③ 公共交通の利便性向上-51-

- ① 都市公園・児童遊園の管理を効率化することで遊具等の適切な更新を行い、さらなる魅力向上に取り組みます。
- ② 燕・弥彦地域公共交通計画に基づき、公共交通のさらなる利便性向上に取り組みます。
- ③ 高齢者や障がいのある人に対して、生活の足である公共交通の利用を支援します。

公園施設の維持・魅力向上

都市公園施設長寿命化対策事業

(都市公園施設整備事業)

【予算額】4,000万円 (予算書P.175)

燕市都市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具等を更新し、公園利用者の安全・安心を確保します。

◇更新箇所 (一例)

第1号旭町公園(ジャングルジム)

西裏公園(滑り台) 等

【担当課】都市計画課



都市公園施設維持管理事業

(都市公園管理費)

【予算額】2,066万円 (予算書P.173)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

老朽化した都市公園施設の、更新及び修繕工事を順次行うことで、安全で快適な公園環境を維持します。

【担当課】都市計画課

児童遊園整理事業【ゼロ予算】●

児童遊園を都市公園に編入するなど整理を行うことで、維持管理業務の効率化を図ります。

【担当課】都市計画課

公共交通の利便性向上

公共交通運行事業 拡

【予算額】9,156万円 (予算書P.87)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

燕・弥彦地域公共交通計画に基づき、公共交通の利便性向上に取り組み、利用者の増加を図ります。

◇スワロー号、やひこ号等の運行

◇出前講座の実施

★きららん号の土曜日試験運行の実施

利便性向上に向けて、きららん号を土曜日運行する際の課題把握や効果検証をするため、試験運行を新たに実施します。

◇試験運行期間：9～10月の土曜日

★小中学生無料乗車キャンペーンの実施

きららん号の利用者増加を図るため、小中学校の夏休み期間に合わせて、児童生徒がきららん号を無料で利用できるキャンペーンを新

たに実施します。

【担当課】都市計画課



交通弱者への支援

高齢者運転免許自主返納支援事業

(交通安全推進事業)

【予算額】285万円 (予算書P.85)

運転免許を自主返納した高齢者に対し、市内公共交通利用券等を交付します。

◇支援内容 (①か②のどちらか)

①「公共交通共通利用券のみ(1万円分)」

②「公共交通共通利用券(8千円分)

+自転車用ヘルメット(約4千円相当)」

【担当課】生活環境課

障がい者タクシー利用料及び自動車燃料費助成事業 拡

(身体障がい者福祉事業)

【再掲37ページ】

【担当課】社会福祉課

コミュニティバス運行事業 拡

(公共交通運行事業)

【予算額】53万円 (予算書P.87)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

路線バスの一部区間廃線・減便を受け、公共交通路線の変更等を行うことで、児童生徒の登下校や日常生活の移動手段を確保します。

【担当課】都市計画課

4-(2)-④ 水道水の安定供給と汚水処理の効率化

-52-

- ① 統合浄水場を安定稼働させるとともに、老朽化した配水管路更新を着実に進めます。
- ② 下水道の面的整備を進めるとともに、下水道施設の耐震・老朽化対策を行います。
- ③ 効率的に汚水処理を行うため、下水終末処理場の施設整備を進めます。

安全・安心な水の安定供給

統合浄水場の安定稼働

(浄水場施設運転管理業務委託)

【予算額】4億7,705万円

【委託期間】令和7~26年度



民間事業者に、統合浄水場の運転・維持管理業務を包括的に委託します。民間の技術力・運営手法を活用して、管理体制の強化を図り、より安全で安心・安定した水の供給を継続します。

【担当部局】燕・弥彦総合事務組合 水道局

老朽管路更新事業

【R7繰越予算額】6億円

【事業期間】令和元~10年度

老朽化した管路を漏水や地震に強い耐震性能に優れた配水管に更新します。

◇重要給水施設管路の耐震化工事($L=5.0\text{ km}$)

【担当部局】燕・弥彦総合事務組合 水道局

※詳細は「燕・弥彦総合事務組合
水道事業会計予算概要」を参照

効率的な汚水処理の推進

公共下水道の整備(未普及対策)事業

【予算額】16億2,800万円

【事業期間】令和元~10年度

燕市汚水処理施設整備構想に基づき、未普及の区域に下水道を整備します。

◇管渠整備工事
($L=3.6\text{ km}$)

【担当課】下水道課



し尿等受入に伴う下水終末処理場施設整備事業

【予算額】4,000万円

【事業期間】令和5~13年度

燕市下水終末処理場で、し尿等と污水を共同処理することにより、衛生センターの整備費及び維持管理費のコスト削減を図るために、受入施設と処理場施設の整備を令和14年度の供用開始を目指して進めています。令和8年度は将来的な人口減少をふまえた施設規模の設定や最適な処理方式の選定などについて検討し、今後の整備を合理的かつ一体的に進めるための基本計画を策定します。

【担当課】生活環境課、下水道課



※詳細は「燕市下水道事業会計当初予算の概要」を参照

- ① 総合計画等の各種計画の見直しを図るとともに、公共施設の保有量適正化等による持続可能な行財政運営を推進します。
- ② 公債費の適正管理・歳入の確保に取り組むとともに、職員の政策形成力の向上を図ります。

各種計画の見直し

第3次燕市総合計画・第3次燕市行政改革推進プランの検証及び中間見直し
(政策調査研究費、行政改革推進費)

【予算額】70万円 (予算書P.63)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

市政運営の両輪を担う第3次燕市総合計画・第3次燕市行政改革推進プランの前期4年間における目標達成状況等の検証を行うとともに、人口減少をはじめとした社会変化を踏まえ、中間見直しを行います。

【担当課】企画財政課



燕市建物系公共施設保有量適正化計画の見直し
(臨)【ゼロ予算】

人口減少や施設利用ニーズの変化、維持管理費の上昇等を踏まえ、必要な見直しを図ります。

【担当課】用地管財課

第3次燕市保育園等適正配置実施計画(仮称)の策定
(臨)【ゼロ予算】

第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画が終期を迎えることから、少子化をはじめとした社会変化を踏まえた次期配置計画を策定します。

【担当課】こども未来課

公的資産のマネジメント

西燕公民館解体事業
(臨)(分館管理運営費)

【予算額】1億7,480万円 (予算書P.207)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

燕市建物系公共施設保有量適正化計画に基づき、老朽化した建物を解体します。

【担当課】社会教育課

勤労青少年ホーム解体事業
(勤労青少年ホーム管理運営費)

【予算額】550万円 (予算書P.139)

燕市建物系公共施設保有量適正化計画に基づき、老朽化した建物の解体に向けた設計業務を実施します。 【担当課】社会教育課

行政サービスの最適化

下水道使用料の適正化

【ゼロ予算】

令和7年3月に策定した燕市下水道事業経営改善戦略に基づき、下水道使用料を令和8年5月分から段階的に引き上げ、将来にわたり下水道事業の健全かつ安定した経営を確保します。

【担当課】下水道課

公債費の適正管理・歳入の確保

地方債の繰上償還
(臨)(事業債償還元金)

【予算額】9,292万円 (予算書P.225)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

昨今の金利上昇を受け、交付税措置のない地方債に対して減債基金を活用して繰上げ償還を行い、後年度の償還利子額を削減します。

【担当課】企画財政課

債券による基金運用 【ゼロ予算】
(新)

積立基金について比較的安全性の高い国債や地方債などの債券による運用を行い、運用益の安全かつ効率的な確保を目指します。

【担当課】企画財政課

職員の政策形成力の向上

先進地視察予算の拡充
(拡)

(政策調査研究費)

【予算額】100万円 (予算書P.63)

行政課題に対する先進地の取組を学び、効果的な施策の立案につなげるため、柔軟に先進地へ視察に行けるよう、予算を拡充します。

【担当課】企画財政課

- ③自治体業務のDXを推進し、市民・事業者の利便性向上につなげます。
- ④情報関連業務のアウトソーシング化をはじめ、内部事務の効率化を図ります。

自治体DXの推進 DX

固定資産税・軽自動車税納税通知書の電子化対応臨 (賦課経費) 【予算額】1,045万円(予算書P.75)

希望する法人に対して固定資産税・軽自動車税の納税通知書を電子データで送付するためのシステム改修を行い、法人の事務処理の効率化につなげます。

【担当課】税務課

学校給食費集金システムの導入新 (学校給食管理運営費) 【予算額】74万円(予算書P.221)

中学校における給食費引落しのための口座振替システムを導入します。

【担当課】学校教育課

介護認定審査会DX事業拡 (介護認定審査会共同事務費) 【予算額】101万円(予算書P.301)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

小中学校でリースを満了したタブレットを活用し、介護認定審査会にペーパーレス会議システムを本格導入します。

【担当課】長寿福祉課

マイナンバーカード交付管理システムの導入新 (戸籍住民基本台帳費) 【予算額】297万円(予算書P.77)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

マイナンバー制度の開始から10年が経過し、カード更新等に係る事務が増大していることから、交付業務を効率化するためのシステムを導入します。

【担当課】市民課

避難者支援システム運用事業新 (災害対策事業) 【再掲47ページ】 【担当課】防災課

保育ICTアプリの機能拡張拡

(保育園運営費)

【再掲33ページ】

【担当課】こども未来課

DX推進研修新(情報化推進事業)

【予算額】99万円(予算書P.73)

AI活用をはじめとした情報スキル向上のための職員向け研修を実施します。

【担当課】総務課

内部事務の効率化 DX

情報関連業務の包括アウトソーシング新 (情報化推進事業)

【予算額】1,048万円(予算書P.73)

※関連する予算額のみを抜き出しています。

システム導入や運用のほか、PC等の調達・管理などの情報関連業務の効率化を図るため、包括アウトソーシングの導入に向けた準備に着手します。

◇包括アウトソーシング計画の策定

◇業務委託によるヘルプデスクの設置

【担当課】総務課



政務活動費管理システムの導入新 (議会運営費)

【予算額】15万円(予算書P.53)

市議会議員の政務活動費の確認作業や収支報告書の作成作業を効率的に行うためのシステムを導入します。

【担当課】議事課

生活保護業務のDX新(生活保護事業) 【再掲42ページ】

【担当課】社会福祉課